

添付資料

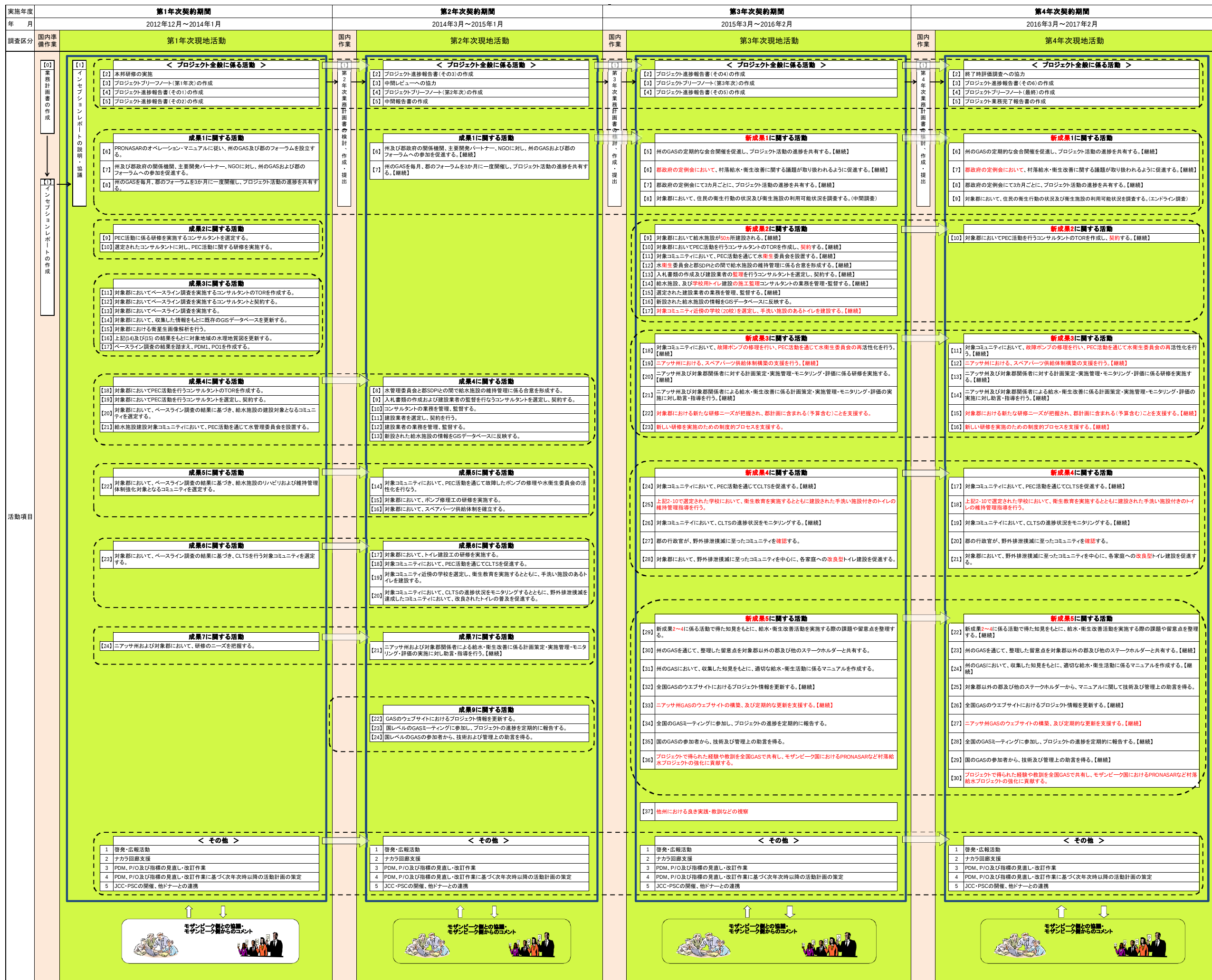
添付資料-1 プロジェクト・デザイン・ マトリックス（PDM）

添付資料-1 プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)

プロジェクト名 :モザンビーク国ニアッサ州持続的給水・衛生改善プロジェクト		期間: 2012 年 12 月ー2017 年 2 月	
対象地域 :モザンビーク国ニアッサ州 Majune 郡、Muembe 郡、Mavago 郡、Mandimba 郡		Ver. 4	
ターゲット・グループ :ニアッサ州公共事業住宅局(DPOPH)及び郡計画・基盤整備課(SDPI)職員		作成日: 2015 年 8 月	
プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
上位目標 ニアッサ州における給水・衛生状況が改善される。	1 ニアッサ州における水因性疾患の発生数が 5%減少する。 2 ニアッサ州において給水施設へアクセスできる人口の割合が 2%増加する。	1 ニアッサ州保健局データ 2 ニアッサ州水衛生部データ	
プロジェクト目標 DPOPH/DAS と SDPI への組織能力強化を通し、対象郡における給水・衛生状況が改善される。	1 対象郡における水因性疾患の発生数が 10%減少する。 2 対象郡において給水施設へアクセスできる受益者が 33,600 人増加する。 3 評価テストで DPOPH/DAS と SDPI の能力が向上する。	1, 2 プロジェクト業務完了報告書 3 評価テスト結果、プロジェクト業務進捗報告書	■ニアッサ州で水・衛生分野の介入ができるのに十分な予算(PRONASAR やその他リソースより)がある。
成果 1. 対象郡の計画、及び給水・衛生活動の準備に関わる能力が強化される。 2. 対象郡に新しい給水施設及び学校用トイレが建設される。 3. 対象郡において給水施設の維持管理体制が強化される。 4. 対象郡において住民の衛生活動が改善される。 5. プロジェクトで得られた教訓と知見を州、及び全国レベルのステークホルダーへ普及・共有される。	1-1 州の GAS の定期会合が 3 ヶ月ごとに行なわれる。 1-2 郡政府の定例会で、村落給水・衛生改善に関する議題が 3 ヶ月ごとに取り扱われる。 1-3 15 人以上のコンサルタントが研修終了の認定証を受領する。 1-4 対象郡の SDPI が、コンサルタントから報告書を受領する。 1-5 対象郡における住民の給水・衛生状況改善意識についての報告書が作成される。 1-6 対象郡の水理地質図が更新される。 2-1 対象郡において給水施設が 50 ヲ所建設される。 2-2 SDPI による監理が毎月行われる。 3-1 各対象コミュニティの水衛生委員会において、施設維持管理基金としてプロジェクト終了までに最低 2,000Mt 貯蓄される。 3-2 各対象コミュニティの給水施設の故障期間が 1 回当たり 14 日以下に減少する。 3-3 ニアッサ州および対象郡において、DPOPH 及び SDPI が年間計画を毎年策定する。 3-4 11 人以上の DPOPH 職員および SDPI 職員が研修終了の認定証を受領する。 3-5 DPOPH/DAS が、郡 SDPI から 3 カ月に 1 度、実施監理・モニタリング・評価に関する報告書を受領する。 4-1 対象コミュニティにおいて、野外排泄をしていたがやめた人々の割合が、少なくとも 50%になる。 4-2 対象コミュニティにおいて、排泄後に適切な手洗いをしていなかったが行うようになった人々の割合が、少なくとも 50%になる。 4-3 60 以上のコミュニティが野外排泄の撲滅に至る。 5-1 3種類のマニュアル/ガイドラインが作成され、ニアッサ州対象郡以外の郡と共有される。 5-2 国家レベルの GAS において、プロジェクトの進捗に関するプレゼンテーションが 3 回以上実施される。 5-3 他の州から 10 人以上がプロジェクト活動を視察に訪れる。 5-4 州 GAS のウェブサイトが月に1度以上更新される。	1-1 会議議事録 1-2 会議議事録 1-3 CFPAS 報告書 1-4 プロジェクト業務進捗報告書 1-5 プロジェクト業務進捗報告書 1-6 水理地質図 2-1 プロジェクト業務進捗報告書 2-2 プロジェクト業務進捗報告書 3-1 プロジェクト業務進捗報告書／中間報告書 3-2 プロジェクト業務進捗報告書／中間報告書 3-3 プロジェクト業務進捗報告書 3-4 CFPAS 報告書 3-5 プロジェクト業務進捗報告書 4-1 プロジェクト業務進捗報告書／中間報告書 4-2 同上 4-3 同上 5-1 プロジェクト業務進捗報告書 5-2 プロジェクト業務完了報告書 5-3 プロジェクト業務完了報告書 5-4 プロジェクト業務完了報告書	■「モ」国カウンターパートならびに邦人専門家が、プロジェクト実施中プロジェクトに影響を及ぼすようなタイミングでの交代がない。
活動 【成果 1 にかかる活動】 1-1-1 PRONASAR のオペレーション・マニュアルに従い、村務給水・衛生改善に係る関係者から成る州の GAS を強化する。 1-1-2 州及び郡政府の関係機関、主要開発パートナー、NGO に対し、州の GAS への参加を促進する。 1-1-3 州の GAS の定期的な会合開催を促進し、プロジェクト活動の進捗を共有する。 1-2-1 郡政府の定例会において、村落給水・衛生改善に関する議題が取り扱われるように促進する。 1-2-2 郡政府の定例会にて 3 カ月ごとに、プロジェクト活動の進捗を共有する。 1-3 PEC 活動に係る研修を実施するコンサルタントを選定する。 1-4 対象郡において PEC 活動が行えるように、コンサルタントに研修を実施する。 1-5 対象郡においてベースライン調査を実施するコンサルタントの TOR を作成する。 1-6 対象郡においてベースライン調査を実施するコンサルタントと契約する。 1-7 対象郡において給水施設の設置状況、井戸情報(位置、深度、地質、揚水量、水質等)、及び維持管理状況を調査する。 1-8 対象郡において、住民の衛生活動の状況及び衛生施設の利用可能状況を調査する。 1-9 対象郡においてコンサルタント、ポンプ修理人、トイレ建設工を特定する。 1-10 対象郡において収集した情報をもとに既存 GIS データベースを更新する。 1-11 対象郡における衛星画像解析を行う。 1-12 1-10 及び 1-11 の結果をもとに対象地域の水理地質図を更新する。 1-13 ベースライン調査の結果を踏まえ、PDM1、PO1 を作成する。 【成果 2 にかかる活動】 2-1 対象郡において給水施設が 50 ヲ所建設される。 2-2 対象郡において PEC 活動を行うコンサルタントの TOR を作成し、契約する。 2-3 対象郡において、ベースライン調査の結果に基づき、給水施設の建設対象となるコミュニティを選定する。 2-4 対象コミュニティにおいて、PEC 活動を通じて水衛生委員会を設置する。 2-5 水衛生委員会と郡 SDPI との間で給水施設の維持管理に係る合意を形成する。 2-6 入札書類の作成及び建設業者の監理を行うコンサルタントを選定し、契約する。 2-7 給水施設、及び学校用トイレ建設の施工監理コンサルタントの業務を管理・監督する。 2-8 選定された建設業者の業務を管理、監督する。 2-9 新設された給水施設の情報を GIS データベースに反映する。 2-10 対象コミュニティ近傍の学校(20 校)を選定し、手洗い施設のあるトイレを建設する。 【成果 3 にかかる活動】 3-1 対象郡において、ベースライン調査の結果に基づき、給水施設のリハビリ及び維持管理体制強化対象となるコミュニティを選定する。 3-2 対象郡において、地域の修理工の研修を実施する。 3-3 対象コミュニティにおいて、故障ポンプの修理を行い、PEC 活動を通じて水衛生委員会の再活性化を行う。 3-4 ニアッサ州における、スベアパーツ供給体制構築の支援を行う。 3-5 ニアッサ州及び対象郡において、研修のニーズを把握する。 3-6 ニアッサ州及び対象郡関係者に対する計画策定・実施管理・モニタリング・評価に係る研修を実施する。 3-7 ニアッサ州及び対象郡関係者による給水・衛生改善に係る計画策定・実施管理・モニタリング・評価の実施に対し助言・指導を行う。 3-8 対象郡における新たな研修ニーズが把握され、郡計画に含まれる(予算含む)ことを支援する。 3-9 新しい研修を実施のための制度的プロセスを支援する。 【成果 4 にかかる活動】 4-1 対象郡において、ベースライン調査の結果に基づき、CLTS を行う対象コミュニティを選定する。 4-2 対象郡において、トイレ建設工の研修を実施する。 4-3 対象コミュニティにおいて、PEC 活動を通じて CLTS を促進する。 4-4 上記 2-10 で選定された学校において、衛生教育を実施するとともに建設された手洗い施設付きのトイレの維持管理指導を行う。 4-5 対象コミュニティにおいて、CLTS の進捗状況をモニタリングする。 4-6 郡の行政官が、野外排泄撲滅に至ったコミュニティを確認する。 4-7 対象郡において、野外排泄撲滅に至ったコミュニティを中心に、各家庭への改良型トイレ建設を促進する。 【成果 5 にかかる活動】 5-1 成果 2〜4 に係る活動で得た知見をもとに、給水・衛生改善活動を実施する際の課題や留意点を整理する。 5-2 州の GAS を通じて、整理した留意点を対象郡以外の郡及び他のステークホルダーと共有する。 5-3 州の GAS において、収集した知見をもとに、適切な給水・衛生活動に係るマニュアルを作成する。 5-4 対象郡以外の郡及び他のステークホルダーから、マニュアルに関して技術及び管理上の助言を得る。 5-5 全国 GAS のウェブサイトにおけるプロジェクト情報を更新する。 5-6 ニアッサ州 GAS のウェブサイトの構築、及び定期的な更新を支援する。 5-7 全国の GAS ミーティングに参加し、プロジェクトの進捗を定期的に報告する。 5-8 国の GAS の参加者から、技術及び管理上の助言を得る。 5-9 プロジェクトで得られた経験や教訓を全国 GAS で共有し、モザンビーク国における PRONASAR など村落給水プロジェクトの強化に貢献する。		投入 ■人材: 総括／村落給水・衛生、設計施工管理、給水施設維持管理、衛生啓発、人材育成／組織能力強化、物理探査、衛星画像解析 ■機材供与: 車両 3 台、バイク 8 台、GPS、GIS ソフトウェア、コンピューター、プロジェクトオフィス用発電機、デジタルカメラ、地下水解析ソフトウェア、スベアパーツ店用初期在庫 ■本邦／第三国研修 【モザンビーク国側】 ■人材:カウンターパートの配置 ■資機材 ■事務所スペース ■資金: ー政府役員への給与および他日当 ー電気、水、ガス燃料等公共料金	■十分な能力のある信頼のける井戸掘さく業者が給水施設建設の入札に参加する。
		前提条件	

添付資料-2 業務フローチャート

添付資料-2 業務フローチャート



添付資料-3 作業計画

添付資料-3 作業計画

[illegible]

添付資料-4 活動計画と進捗対比

添付資料-5 専門家派遣実績(要員計画)

5.a 1 年次

5.b 2 年次

5.c 3 年次

5.d 4 年次

添付資料-5. a 専門家派遣実績（要員計画）（1年次）

	担 当	氏 名	所 属	格 付	2012年度												2013年度												人／月	
					2012年度												2013年度												1年次	
					2012年												2013年												2014年	
					12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
現 地 業 務	総括／村落給水・衛生	横木 昭一	日本テノ	3				24			2	8		11		15		12										8.50		
	設計施工監理	*****	***	4																								0.00		
	給水施設維持管理	永沼 俊道	日本テノ	4					14			14		3				8										7.00		
	衛生啓発	稲田 菜穂子	ICNet	3										30	28		22	21									2.00			
	人材育成／組織能力強化	小島 寛明	ICNet	4				3/24			6/13	6/14			4-8	21-23	11-10	11-23									4.00			
	物理探査／水理地質	菅 真	日本テノ	4										30	30	16	28										1.50			
	衛星画像解析	和田 知之	地球システム 科学	5												16	19										1.50			
	業務調整	岡根 史佳	日本テノ	4														1	26								(0.87)			
																									24.50					
国 内 作 業	総括／村落給水・衛生	横木 昭一	日本テノ	3																								0.20		
	給水施設維持管理	永沼 俊道	日本テノ	4																								0.10		
	衛生啓発	稲田 菜穂子	ICNet	3																								0.10		
	人材育成／組織能力強化	小島 寛明	ICNet	4																								0.10		
	衛星画像解析	和田 知之	地球システム 科学	5																								0.50		
																											1.00			
報告書		提出時期						△ IC/R						△ PR/R1				△ PBN1, PR/R2												
		国内作業																												
調査段階及び合計								国内準備																				24.50	1.00	
																												25.50		

凡例:



現地業務
国内作業
現地業務(自社負担)

添付資料-5. b 専門家派遣実績（要員計画）（2年次）

氏名 (担当業務)	格付		渡航 回数	2014												2015		日数 合計	人月 合計
				3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2				
横木 昭一 (総括／村落給水・衛生)	3	計画	2		■						■					180	6.00		
		実績	2		■						■		■			180	6.00		
有田 一博 (設計施工監理1(衛生施設))	4	計画	1		■											45	1.50		
		実績	1		■											45	1.50		
山下 千文 (設計施工監理2(給水施設))	4	計画	1						■							60	2.00		
		実績	1						■							60	2.00		
永沼 俊道 (給水施設維持管理1)	4	計画	2		■				■							105	3.50		
		実績	2		■				■							105	3.50		
福田 菜穂子 (衛生啓発)	3	計画	2		■						■					105	3.50		
		実績	2		■						■					105	3.50		
小島 寛明 (人材育成／組織能力強化)	4	計画	2				■					■				105	3.50		
		実績	2				■					■		■		105	3.50		
菅 真 (物理探査／水理地質)	4	計画	1		■											60	2.00		
		実績	1		■							■				60	2.00		
和田 知之 (衛星画像解析)	4	計画	0													0	0.00		
		実績	0													0	0.00		
岡根 史佳 (給水施設維持管理2(スベアパーツサブ ライチェーンマネジメント))	4	計画	1								■					60	2.00		
		実績	1								■		■			60	2.00		
														現地業務小計	計画	720	24.00		
															実績	720	24.00		

2. 国内業務

横木 昭一 (総括／村落給水・衛生)	3	計画			(2)						(10)			(8)		20	1.00
		実績		4/7 4/8	(2)					9/17 9/30	(10)			1/5 1/12	(8)		20
														現地業務小計	計画	20	1.00
															実績	20	1.00

凡例：

業務従事実績

業務従事計画

自社負担

合計	計画	25.00
	実績	25.00

報告書等	△ 業務計画書	△ P/R3	△ FBN2、中間報告書
------	------------	-----------	-----------------

注1) 各業務従事者の現地、国内のそれぞれの人月は、現地業務期間は30日、国内業務期間は20日で除した数字の小数点以下第3位を四捨五入して算定すること。
注2) 各業務従事者の各配置期間の下には、日数を括弧書きで記入すること。
注3) 実績については各配置期間の開始日、終了日を記載すること。計画については記入不要。
注4) 通訳についても記載すること。
注5) コンサルタント業務従事月報の添付資料とすることは、月報提出月以降の「業務従事予定日程」を括弧書きで記載すること。

添付資料-5. c 専門家派遣実績（要員計画）（3年次）

	担 当	氏 名	格付		2014年度	2015年度												人／月	
					第3年次												3年次		
					2015年												2016年		
					2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	日数 合計	人月 合計
現 地 業 務	横木 昭一 総括／村落給水・衛生	横木 昭一	3	計画													225	7.50	
				実績			3/15 (75日)	5/31 (78日)			8/16 (75日)	11/9 (86日)	11/15 (55日)	1/8			219	7.30	
	有田 一博 設計施工監理1(衛生施設)	有田 一博	4	計画													45	1.50	
				実績			4/12 (45日)	5/24 (43日)									43	1.43	
	菅 真 物理探査／水理地質／ 設計施工監理2(給水施設)	菅 真	4	計画													45	1.50	
				実績			4/2 (45日)	5/16 (45日)					11/5 (36日)	12/10 (36日)	12/22		81	2.70	
	永沼 俊道 給水施設維持管理1	永沼 俊道	4	計画													90	3.00	
				実績				5/24 (54日)	7/16 (54日)			(1.2MMを物理探査担当へ振替)					54	1.80	
	稲田 菜穂子 衛生啓発	稲田 菜穂子	3	計画														75	2.50
				実績				6/9 (43日)	7/21 (45日)			10/9 (30日)	11/9 (32日)				75	2.50	
	小島 寛明 人材育成／組織能力強化	小島 寛明	4	計画														120	4.00
				実績			4/21 (59日)	6/18 (45日)					10/23 (61日)	12/22			120	4.00	
	和田 知之 衛星画像解析	和田 知之	4	計画														30	1.00
				実績							8/23 (30日)	9/21 (30日)					30	1.00	
	岡根 史佳 給水施設維持管理2(スベア パーツサプライチェーンマネジ メント)	岡根 史佳	4	計画														90	3.00
				実績							7/9 (57日)	9/3 (33日)	10/11 (44日)	11/12 (44日)	12/26		134	4.47	
	米谷 直晃 モニタリング(SINAS)体制強 化	米谷 直晃	5	計画														45	1.50
				実績			4/2 (45日)	5/16 (45日)									45	1.50	
現地業務小計														計画	765	25.50			
														実績	801	26.70			
国 内 作 業	横木 昭一 総括／村落給水・衛生	3	計画														10	0.50	
			実績		3/2-3/6 (5日 0.25M/M)		6/1-6/2 (2日 0.1M/M)				11/10-11/14 (5日 0.25M/M)	1/13-1/14 (2日 0.15M/M)			14	0.70			
	有田 一博 設計施工監理(衛生施設)	3	計画													0	0.00		
			実績				5/26-5/27 (2日 0.07M/M)								2	0.07			
国内業務小計														計画	10	0.50			
														実績	16	0.77			

業務従事実績

業務従事計画

自社負担

合 計	計画	775	26.00
	実績	817	27.47

添付資料-5. d 専門家派遣実績（要員計画）（4年次）

担 当	所 属		2015年度														人／月	
			第4年次														4年次	
			2016年												2017年		日数 合計	人月 合計
			2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
現 地 業 務	横木 昭一 総括／村落給水・衛生	日本テノ	計画		 (75日)			 (60日)			 (90日)			 (12日)	237	7.90		
			実績		 (79日)		 (67日)		 (89日)	 (自社負担:2日)		 (12日)	247	8.23				
	永沼 俊道 給水施設維持管理1	日本テノ	計画				 (60日)		 (30日)					90	3.00			
			実績				 (59日)		 (21日)				80	2.67				
	稲田 菜穂子 衛生啓発	ICNet	計画			 (60日)		 (45日)						105	3.50			
			実績			 (61日)		 (44日)					105	3.50				
	小島 寛明 人材育成／組織能力強化	ICNet	計画		 (45日)					 (45日)				90	3.00			
			実績		 (45日)				 (45日)				90	3.00				
	和田 知之 衛星画像解析／モニタリング (SINAS)体制強化1	地球システム科 学	計画			 (30日)								30	1.00			
			実績			 (30日)							30	1.00				
	岡根 史佳 給水施設維持管理2(スぺアパーツ サプライチェーンマネジメント)	日本テノ	計画		 (60日)		 (30日)				 (30日)		(検計中) (12日)	132	4.40			
			実績		 (66日)		 (54日)			 (12日) (自社負担:22日)		 (2/7-2/18)	144	4.80				
	米谷 直晃 モニタリング(SINAS)体制強化	日本テノ	計画								 (30日)			30	1.00			
			実績								 (18日)			18	0.60			
現地業務小計												現地業務小計	計画	714	23.80			
													実績	714	23.80			
国 内 作 業	横木 昭一 総括／村落給水・衛生	日本テノ	計画	 (5日 0.25M/M)								 (10日 0.5M/M)		15	0.75			
			実績	 (5日 0.25M/M)										5	0.25			
国内業務小計												国内業務小計	計画	15	0.75			
													実績	5	0.25			
凡例：													合 計	計画	729	24.55		
														実績	719	24.05		

報告書等提出時期					△ PR/R6					△ PBN4, PR/R7		
----------	--	--	--	--	------------	--	--	--	--	------------------	--	--

添付資料-6 3 年次及び 4 年次の州合同
調整委員会(PSC)議事録

ACTA DA 5ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE SUPERVISÃO PROVINCIAL
(5º PSC)

DO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO
DE ÁGUA, HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA
REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE

Lichinga, aos 28 de Agosto de 2015



Sr. Graciano Artur
Director Provincial das Obras Públicas
e Habitação (DPOPH) do Niassa
República de Moçambique



Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa
Equipa do Projecto da JICA
(PROSUAS)
Japão



Sra. Ana Maria de Lurdes M.
Administradora do Distrito de Majune
República de Moçambique



Sr. António Tacarindua
Administrador do Distrito de
Mandimba
República de Moçambique



Sr. Eduardo Assané Ali
Administrador do Distrito de Muembe
República de Moçambique



Sr. José Achida Assane
Administrador do Distrito de Mavago
República de Moçambique

1. Introdução

A 5ª reunião do Comité de Supervisão Provincial (doravante referida como “5º PSC”) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa, na República de Moçambique (doravante referido como “PROSUAS”) foi realizada no dia 28 de Agosto de 2015, na sala de conferências Kuchijinjji, em Lichinga, Província do Niassa, e teve como participantes os alistados no Anexo-1. Foram discutidos e acordados os assuntos abaixo mencionados.

A seguir o resumo dos principais assuntos abordados no 5º PSC:

2. Principais Assuntos Abordados

Os Contrapartes do DAS/DPOPH, dos Distritos e o Chefe da Equipa do PROSUAS apresentaram os seguintes temas:

- Balanço das Actividades do 1º Semestre de 2015 no Sector de Água e Saneamento.
- Balanço das Actividades Desenvolvidas no 1º Semestre de 2015
- Balanço das Actividades Realizadas no 1º Semestre de 2015 no Âmbito do PROSUAS
- Balanço das Actividades Realizadas no 1º Semestre de 2015 no Âmbito do Projecto PROSUAS, no Distrito de Mandimba
- Progresso das Actividades do PROSUAS
- Revisão da Matriz de Desenho do Projecto (MDP) e dos Indicadores
- Considerações de encerramento

1) Balanço das Actividades do 1º Semestre de 2015 no Sector de Água e Saneamento.

- Em relação ao Balanço das Actividades do 1º Semestre de 2015 no Sector de Água e Saneamento, o Distrito destacou os seguintes pontos:
 - Cobertura actual de abastecimento de água
47%, num universo populacional de 29.988 habitantes.
 - Aquisição de peças sobressalentes para bombas manuais de abastecimento de água:
 - Actividades de Saneamento Planificadas Realizados para 2015:
Construção de 189 latrinas.
- Actividades do PEC planificadas e realizadas no âmbito do Projecto PROSUAS 2015 no Distrito de Mavago

- Quanto as Actividades de PEC planificadas e realizadas no âmbito do Projecto PROSUAS o SDPI de quando destacou as seguintes:

- Troca de experiências dos técnicos do SDPI na área de água e saneamento do meio em Chimoio, Província de Manica.
- Promoção de higiene e saneamento em 24 comunidades.
- Revitalização de 32 comités de água
- Treinamento de 25 comités em OM&R
- Recolha de dados sobre saneamento nas famílias em 10 comunidades

➤ **BOAS PRÁTICAS**

Durante o período em referência foram destacados os seguintes aspectos como boas práticas:

- Uso de material local para construção de latrinas em vários níveis: convencional e tradicional.
- Comunicação activa entre os activistas, SDPI, agentes sociais, para rápida intervenção em todos aspectos.
- Construídas mais 98 latrinas como resultado da sensibilização

➤ **ESTRUTURA UNIFICADA DE CIRCULAÇÃO DE PEÇAS DE BOMBAS MANUAIS**

No âmbito da consolidação da Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes de Bombas Manuais de Abastecimento de Água foram apresentadas as seguintes actividades:

- Identificados 3 comerciantes locais para a venda de peças sobressalente
- Criados modelos de incentivos para os vendedores das peças

➤ **DESAFIOS**

- Aumentar o nível de cobertura de abastecimento de água nas comunidades locais e públicos
- Atingir o estatuto de LIFECA em todas as comunidades que serão candidatas

2) **Balanço Das Actividades Desenvolvidas no 1º Semestre de 2015 no Distrito de Muembe**

➤ **Situação do Abastecimento de Água**

- Cobertura actual 34%:

➤ **Supervisão e Monitoria**

No âmbito das actividades de supervisão e monitoria, destacou-se o seguinte:

- Feitas 16 visitas nas comunidades das localidades de Nzizi, Lutuesse no Posto Administrativo de Muembe Sede e Chiuanjota no Posto Administrativo de Chiconono.
- Recolha de informação nos Postos Administrativos para a elaboração dos Relatórios do SINAS modelo II e posterior envio à DPOPH/DAS.

➤ **Resultados do PEC-ZONAL**

Em relação às actividades de PEC Zonal no âmbito do Projecto PROSUAS, foram destacadas as seguintes actividades:

- Revitalizados 39 CAS.
- Treinados 35 CAS em OMR da bomba Afridev.
- Reciclados os pontos focais e revitalizado o núcleo de higiene e saneamento na escola de Licuvi;
- Criados e capacitados pontos focais e núcleos de higiene e saneamento em duas escolas (EPC de Nzizi e EP1 de Lussengeue);
- Consolidados os promotores de higiene e saneamento (activistas)
- Levantamento de dados em 10 comunidades;
- Apresentação e promoção dos artesãos às comunidades-alvo;
- Construção de 119 novas latrinas, em alguns casos com o auxílio do artesão.

➤ **Rede de Circulação de Peças**

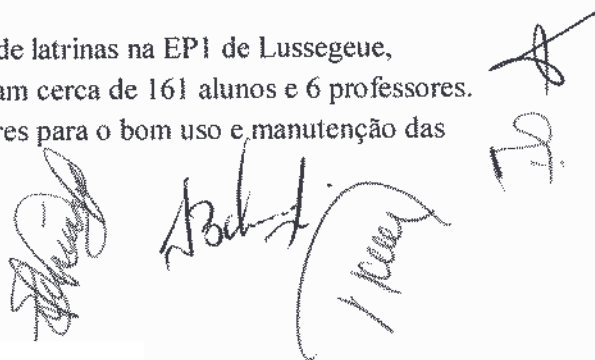
No âmbito da consolidação da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes foram apresentadas as seguintes realizações:

- Identificado um comerciante a nível do Distrito para a venda de peças sobressalentes.
- Identificados 2 ML para a venda de peças sobressalentes a nível dos Postos Administrativos.
- Apresentados os ML em 19 comunidades.

➤ **Entrega Provisória de Latrinas**

No âmbito da promoção de higiene e saneamento nas escolas, foram destacadas as seguintes actividades:

- A entrega provisória de 3 blocos de latrinas na EP1 de Lusengeue, Localidade de Nzizi que beneficiam cerca de 161 alunos e 6 professores.
- Capacitados os alunos e professores para o bom uso e manutenção das mesmas



➤ **Construção de novas Latrinas Escolares**

Ainda no âmbito da promoção de higiene e saneamento nas escolas, o Distrito apresentou o plano de construção de novas Latrinas Escolares em mais 4 escolas tendo destacado:

- O lançamento do concurso e apurado o empreiteiro para a Construção de que vão beneficiar cerca de 865 alunos e 37 professores

➤ **Desafios**

Foram destacados os seguintes desafios:

- Abertura de contas bancárias dos comités;
- Criação de comités mãe;
- Continuar a garantir a sustentabilidade das fontes;
- Continuar a elevar o espírito de pertença as comunidades.

3) Balanço das Actividades Realizadas no Primeiro Semestre de 2015 no Âmbito do PROSUAS no Distrito de Majune

➤ **Situação de Abastecimento de Água e Saneamento Rural no Distrito**

- A actual cobertura é de 52%, num universo populacional de 37.240 habitantes.

➤ **Monitoria e Levantamento de Dados de Água e Saneamento –SINAS**

No âmbito actividades do SINAS o Distrito de Majune destacou:

- Capacitação de 3 Chefes dos Postos Administrativos e 7 Chefes das Localidades em matéria do SINAS
- Monitoria, levantamento das fontes de água e saneamento rural e preenchimento dos modelos 0 e I.

➤ **Rede de Circulação de Peças Sobressalentes de Bombas Manuais de Abastecimento de Água**

No âmbito da consolidação da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes foram apresentadas as seguintes realizações:

- Identificados 2 comerciantes locais para a venda de peças sobressalentes a nível do Distrito;
- Identificados 3 ML para venda de peças sobressalentes de bombas manuais de abastecimento de água a nível dos Postos Administrativos;

- Apresentados os ML nas comunidades.

➤ **Lançamento do Concurso para Construção de Blocos Sanitários nas Escolas**

- Foi feito o lançamento do concurso para a construção de novos blocos sanitário para 04 escolas nomeadamente: EP1 de Chinunga, Ncangano I, Riate e Icuvi, e neste momento aguarda-se o apuramento final das empresas de construções civil vencedoras para o início das obras

➤ **Resultados do PEC- Zonal**

No que diz respeito as actividades de PEC Zonal, o Distrito de Majune destacou as seguintes actividades:

- Realizado o levantamento em 20 fontes por reabilitar.
- Realizado o estudo geofísico em 4 comunidades.
- Realizada análise de qualidade de água
- Revitalizados 23 CAS
- Treinados 12 CAS em OM&R.
- Revitalizados pontos focais e núcleos de higiene e saneamento em 5 escolas
- Levantamento de dados sobre latrinas em 10 comunidade
- Feita a entrega provisória de 03 blocos sanitários para alunos, alunas e professores na EP1 de Paundi. Estas beneficiam 123 alunos e 04 professores.

➤ **DESAFIOS**

Foram destacados como desafios:

- Aumento do nível de cobertura do abastecimento de água
- Tornar sustentáveis todas as fontes do Distrito
- O alcance do estatuto LIFECA nas comunidades propostas

➤ **Balanço das Actividades Realizadas no 1ºSemestre de 2015 no Âmbito do Projecto PROSUAS no Distrito de Mandimba**

• **Construção de Blocos Sanitários**

- Foram construídos 3 blocos sanitários, na Escola de Ussumane, para meninos, meninas e professores.

➤ **Resultados DE PEC**

Foram destacadas como resultados de PEC as seguintes actividades:

- Reciclagem dos pontos focais e revitalização dos núcleos de higiene e saneamento em 5 escolas;
- Revitalizados 28 CAS
- Treinados 11 CAS em operação, manutenção e reparação da bomba Afridev
- Recolha de dados sobre latrinas em 10 comunidades

➤ **Rede de Circulação de Peças Sobressalente de Bombas Manuais de Abastecimento de Água**

No âmbito da consolidação da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes o Distrito de Mandimba destacou as seguintes realizações:

- Identificado 1 (um) comerciante a nível do Distrito para venda de peças sobressalentes;
- Identificados 5 (cinco) ML a nível dos Postos Administrativos para a venda de peças sobressalentes;
- Identificada a quantidade de peças para stock inicial e preço de venda;
- Apresentados os ML nas comunidades

➤ **Actividades de monitoria no âmbito do SINAS**

No âmbito da monitoria do SINAS, o Distrito apresentou as seguintes realizações:

- Visita a dois (02) Postos Administrativos, para esclarecimento das dúvidas sobre o preenchimento dos relatórios;
- Recolha dos relatórios nos Posto Administrativos e Localidades e envio ao DAS;

➤ **Desafios do Distrito**

Para o Distrito de Mandimba constituem desafios:

- Abertura de novas fontes;
- Manter as fontes de água sempre sustentáveis;
- Alcançar o estatuto de LIFECA em todas as comunidades;

4) PROGRESSO DAS ACTIVIDADES DO PROJECTO

- Relativamente ao progresso das actividades do PROSUAS, foram apresentadas as seguintes actividades específicas e a sua respectiva situação actual:

- **Actividade-1 (conforme MDP revisado)**
 - Melhorar a capacidade de planificação e preparação de actividades relacionados com abastecimento de água, saneamento e higiene nos distritos

- alvo

- O GAS Provincial encontra-se consolidado.
- Os técnicos dos distritos-alvo têm melhorado na capacidade de planificação e monitoria do sector.
- Temas relativos a água e saneamento estão a ser discutidos nas sessões dos governos distritais.

• **Actividade 2**

- *Construir novas fontes de água e latrinas escolares nos distritos alvo*
- *(total 50 fontes e 20 latrinas escolares)*
- Concluído 45 fontes em 2014.
- Concluído estudo geofísico das comunidades para construção das 5 novas fontes restantes (2 em Muembe e 3 em Majune).
- Concluído a construção de 4 latrinas escolares.
- Em curso, a contratação para a construção das 16 latrinas restantes (4 latrinas/distrito).
- Em curso: organização do Comité de Água e Saneamento nas comunidades, e do Núcleo de Higiene e Manutenção nas Escolas.

• **5 Actividade-3**

- *Reforçar a capacidade de Operação e Manutenção (O&M) nas fontes de água nos Distritos-alvo*
- Revitalização dos Comités de Água e Saneamento em curso com as actividades do PEC.
- Estabelecimento da rede de circulação de peças sobressalentes em curso.
- Identificados mecânicos locais, vendedores nos distritos, quantidade de stock inicial e preço de peças para revenda.
- Capacitações aos técnicos da Província e dos Distritos para planificação de novas fontes e monitoria.

• **Actividade 4**

- *Melhorar os comportamentos de higiene da população local nos Distritos-alvo*
- Actividades de PEC em curso (inclui SANTOLIC e PHAST).
- Identificação de comunidades candidatas à avaliação do LIFECA.
- Fiscalização e supervisão das actividades do PEC em curso.

• **Actividade-5 e outros**

Handwritten signatures and initials in black ink, including a large signature on the left, a signature in the middle, and a signature on the right that appears to say '11/11/11'.Handwritten signature in black ink, possibly reading 'A. F.'.Handwritten signature in black ink, possibly reading 'A. F.'.Handwritten signature in black ink, possibly reading 'A. F.'.

- *Disseminar e partilhar o know-how (conhecimentos) e as lições aprendidas no Projecto, com os parceiros da Província e a nível nacional*

- Contínuo apoio à operacionalização do site do GAS Provincial e da actualização periódica.
- Concluída a troca de experiência na Província de Manica com a participação de técnicos dos SDPIs e DAS.

➤ **Desafios**

- Operacionalizar o SINAS.
- Apoiar no Estabelecimento da Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes de Bombas Manuais.
- Concluir as novas fontes e as latrinas das escolas dentro do prazo, e com a qualidade exigida.
- Continuar o apoio aos empreiteiros a nível distrital para melhorar a qualidade dos trabalhos de construções de latrinas escolares.
- Fiscalizar e Supervisionar de forma eficiente a construção das fontes por empresas de perfurações localizada na Província.

➤ **Expectativas e Boas Práticas**

- Espera-se que ao fim do Projecto estejam criadas as condições de serviços de AASR sustentáveis (Estrutura Unificada de circulação de peças sobressalentes, Comité de Água e Saneamento, Mecânicos de Bomba, Artesãos, Latrinas Escolares com Sistema de Lavagem das Mãos operacionais, etc.)
- Capacitação Institucional: Continuar o melhoramento na área Técnica e Meios
- O Projecto iniciou o apoio aos Distritos de Mecula, Metarica e Cuamba nas actividades relativa à Rede de Circulação de Peças Sobressalentes e operacionalização do SINAS.
- Latrinas escolares com sistema de lavagem das mãos mostram-se eficientes até o momento.

5) Revisão e Aprovação da Matriz de Desenho do Projecto (MDP)

- A Matriz do Desenho do Projecto foi modificada conforme a Matriz de Desenho do Projecto 4 (MDP4) e o Plano de Operação 4 (PO4) em anexo.

6) Estrutura da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes em todos os Distritos-alvo do Projecto

- Em relação ao ponto de situação da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes foi esclarecido o seguinte:

- O Projecto está a cumprir rigorosamente o calendário de actividades estabelecido no âmbito do estabelecimento da estrutura unificada da rede de circulação de peças, sobressalentes, em anexo;
- Para além de painéis publicitários, o Projecto vai usar as rádios comunitárias para disseminar os locais de vendas de peças sobressalentes de bombas manuais de abastecimento de água nos Distritos;
- Para da operacionalização do SINAS, o Projecto PROSUAS vai apoiar três (3) Distritos sem parceiros, Cuamba, Mecula e Metarica, na aquisição de peças sobressalentes de peças sobressalentes de bombas manuais de abastecimento de água.

7) Recomendações e Sugestões

- No que diz respeito as recomendações e sugestões, foi destacado o seguinte:
 - Os Distritos devem passar a apresentar dados comparativos de modo a permitir que seja feita uma análise comparativa do impacto do Projecto nos Distritos-alvo;
 - Dado que o Projecto PROSUAS vai passar para a sua fase final, a Província e os Distritos-alvo em particular devem valorizar as lições aprendidas do Projecto que possam servir de referência ao nível do país;
 - Os Técnicos dos Distritos devem continuar a se dedicarem as actividades do Projecto para que este alcance os seus objectivos;
 - Os Distritos de Cuamba, Mecula e Metarica devem partilhar as experiências adquiridas no encontro com os dirigentes do Distritos e outros técnicos de modo que elas possam se reflectir ao nível do Distrito e aproveitar o apoio do PROSUAS para operacionalizarem o SINAS.

ANEXOS

ANEXO 1. Lista de Participantes

ANEXO 2. MDP 4 (Matriz do Desenho do Projecto Ver. 4)

ANEXO 3. PO 4 (Plano de Operações Ver. 4)

Handwritten signatures and initials at the bottom right of the page, including a large signature that appears to be 'B. L. M.' and several other initials and marks.

Matriz do Desenho do Projecto (MDP)

Título do Projecto: Projecto de Promoção da Sustentabilidade do Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província de Namíbia
 Duração do Projecto de Maio de 2015 a Fevereiro de 2017 (4 anos)
 Dispositivo: OIA, OIPM da Província de Namíbia e as SCDFs dos Distritos-área
 Área-alvo: Distritos de Namibe, Karas, Erongo e Namutoni

Período: Janeiro 2015 a Fevereiro 2017
 Versão: 4 (Preliminar)
 Preparado em Agosto 2015

Objetivo Geral	Indicadores de Desempenho Verificáveis	Métodos de Verificação	Presupostos Importantes
1. Melhorar a eficiência de abastecimento de água e saneamento nos Distritos-área	1.1 Redução em 5% do número de pessoas afetadas pela escassez de água potável na zona rural de Namíbia 1.2 Aumento em 10% do número de pessoas com acesso à água potável na zona rural de Namíbia	1.1 Dados da Direção Provincial da Saúde 1.2 Dados do Departamento de Água e Saneamento da Província	
2. Melhorar a eficiência de abastecimento de água e saneamento nos Distritos-área através da construção, manutenção de DPOH/DAS e SCDFs	2.1 Redução em 10% do número de pessoas afetadas pela escassez de água potável nas zonas rurais 2.2 Aumento de 10% das capacidades de armazenamento de água potável nos Distritos-área 2.3 Melhorar a capacidade de DPOH/DAS e SCDFs no teste de avaliação	2.1 Relatório Final do Projecto 2.2 Resultados do teste de avaliação 2.3 Relatório de Progresso do Projecto	2.1 Suporte operacional das autoridades locais (municípios) para a implementação das intervenções de água e saneamento na zona rural de Namíbia
3. Melhorar a capacidade de planeificação e produção das actividades de abastecimento de água, saneamento e higiene nos Distritos-área	3.1 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.2 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.3 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.4 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.5 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.6 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.7 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.8 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.9 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados 3.10 100% das SCDFs dos Distritos-área terão planos de trabalho aprovados	3.1 Actas das Reuniões 3.2 Actas das Reuniões 3.3 Relatório de Progresso do Projecto 3.4 Relatório de Progresso do Projecto 3.5 Relatório de Progresso do Projecto 3.6 Relatório de Progresso do Projecto 3.7 Relatório de Progresso do Projecto 3.8 Relatório de Progresso do Projecto 3.9 Relatório de Progresso do Projecto 3.10 Relatório de Progresso do Projecto	3.1 Pessoal da Direcção Provincial de Namíbia e apoio dos Municípios, que possam não mudar a longo prazo para a realização do Projecto
4. Construir novas fontes de água e sistemas para as zonas rurais dos Distritos-área	4.1 100% das novas fontes de água terão sido construídas nos Distritos-área 4.2 100% das novas fontes de água terão sido construídas nos Distritos-área	4.1 Relatório de Progresso do Projecto 4.2 Relatório de Progresso do Projecto	
5. Melhorar a capacidade de operação e manutenção (OM&M) das fontes de água nos Distritos-área	5.1 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.2 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.3 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.4 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.5 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.6 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.7 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.8 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.9 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área 5.10 100% das fontes de água terão sido operadas e mantidas nos Distritos-área	5.1 Relatório de Progresso do Projecto 5.2 Relatório de Progresso do Projecto 5.3 Relatório de Progresso do Projecto 5.4 Relatório de Progresso do Projecto 5.5 Relatório de Progresso do Projecto 5.6 Relatório de Progresso do Projecto 5.7 Relatório de Progresso do Projecto 5.8 Relatório de Progresso do Projecto 5.9 Relatório de Progresso do Projecto 5.10 Relatório de Progresso do Projecto	
6. Melhorar o desempenho de higiene da população local nos Distritos-área	6.1 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.2 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.3 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.4 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.5 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.6 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.7 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.8 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.9 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene 6.10 100% das comunidades locais terão sido educadas sobre higiene	6.1 Relatório de Progresso do Projecto 6.2 Relatório de Progresso do Projecto 6.3 Relatório de Progresso do Projecto 6.4 Relatório de Progresso do Projecto 6.5 Relatório de Progresso do Projecto 6.6 Relatório de Progresso do Projecto 6.7 Relatório de Progresso do Projecto 6.8 Relatório de Progresso do Projecto 6.9 Relatório de Progresso do Projecto 6.10 Relatório de Progresso do Projecto	
7. Desenvolver e melhorar o conhecimento e as habilidades necessárias no Projecto com as partes interessadas das áreas provincial e nacional	7.1 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.2 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.3 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.4 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.5 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.6 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.7 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.8 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.9 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto 7.10 100% das partes interessadas terão sido envolvidas no Projecto	7.1 Relatório de Progresso do Projecto 7.2 Relatório de Progresso do Projecto 7.3 Relatório de Progresso do Projecto 7.4 Relatório de Progresso do Projecto 7.5 Relatório de Progresso do Projecto 7.6 Relatório de Progresso do Projecto 7.7 Relatório de Progresso do Projecto 7.8 Relatório de Progresso do Projecto 7.9 Relatório de Progresso do Projecto 7.10 Relatório de Progresso do Projecto	
8. Implementar o Projecto	8.1 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.2 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.3 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.4 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.5 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.6 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.7 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.8 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.9 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas 8.10 100% das actividades do Projecto terão sido implementadas	8.1 Relatório de Progresso do Projecto 8.2 Relatório de Progresso do Projecto 8.3 Relatório de Progresso do Projecto 8.4 Relatório de Progresso do Projecto 8.5 Relatório de Progresso do Projecto 8.6 Relatório de Progresso do Projecto 8.7 Relatório de Progresso do Projecto 8.8 Relatório de Progresso do Projecto 8.9 Relatório de Progresso do Projecto 8.10 Relatório de Progresso do Projecto	

Atividades	2013														2014														2015														2016														2017													
	Primeiro Ano														Segundo Ano														Terceiro Ano														Quarto Ano														Quinto Ano													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
Conteúdo da atividade																																																																						
Preparação do Plano de Trabalho (no Japão)																																																																						
Explicação e Discussão sobre o Relatório Inicial (no JDC-IPSC)																																																																						
Preparação do Gabinete do Projeto																																																																						
Relatório de Avanço																																																																						
Revisão Intermediária, Relatório Intermediário, Avaliação Final e Relatório Final																																																																						
JDC e PSC																																																																						
1. Melhorar a capacidade de planeificação e preparação das atividades de abastecimento de água, saneamento e higiene nos Distritos-alvo																																																																						
1-1-1 Abastecimento de água e saneamento rural em harmonia com o manual de operação do PROHNASAR																																																																						
1-1-2 Promover a participação das Direções e Secretarias dos Governos locais relacionados, principais parceiros da cooperação e ONGs no GAS Provincial.																																																																						
1-1-3 Incentivar a realização de reuniões do GAS Provincial regularmente e partilhar o progresso das atividades do Projeto																																																																						
1-2-1 Incentivar a inclusão de temas do abastecimento de água e saneamento rural nas sessões ordinárias dos Governos dos Distritos-alvo																																																																						
1-2-2 Incentivar a partilha do progresso das atividades do Projeto																																																																						
1-2-3 Incentivar a participação nas sessões ordinárias dos Governos dos Distritos-alvo																																																																						
1-3 Selecionar Consultores apropriados para executar seminários do PEC																																																																						
1-4 Capacitar Consultores da área social para que possam implementar as atividades do PEC nos Distritos-alvo.																																																																						
1-5 Elaborar os TOR dos Consultores da área social para a realização do estudo de base nos Distritos-alvo.																																																																						
1-6 Contratar os Consultores da área social para a realização do estudo de base nos Distritos-alvo.																																																																						
1-7 Realizar um estudo sobre disponibilidade actual das fontes de água, dados das fontes e sua situação de O&M nos Distritos-alvo																																																																						
1-8 Realizar um estudo sobre o comportamento da higiene da população local e a disponibilidade de infraestruturas de saneamento nos Distritos-alvo																																																																						
1-9 Identificar recursos locais sobre construtores de área social, mecânicos, locais de bombas e artefactos nos Distritos-alvo																																																																						
1-10 Actualizar o banco de dados de GIS existente com as informações colhidas das fontes de água nos Distritos-alvo																																																																						
1-11 Realizar análise das imagens de satélite dos Distritos-alvo																																																																						
1-12 Com base nos resultados de 1-10 e 1-11 acima, actualizar o mapa hidrogeológico.																																																																						
1-13 Com base nos resultados do estudo de base, elaborar MDP 1 e PO 1.																																																																						
2. Construir novas fontes de água e latrinas para as escolas nos Distritos-alvo.																																																																						
2-1 São construídas 50 novas fontes de água nos Distritos-alvo.																																																																						
2-2 Elaborar os TOR e contratar Consultores da área social para a realização das actividades de PEC nos Distritos-alvo.																																																																						
2-3 Seleccionar as comunidades-alvo onde as fontes de água devem ser construídas, conforme resultado do Estudo de Base nos Distritos-alvo																																																																						
2-4 Estabelecer Comité de Água através das actividades de PEC nas comunidades-alvo.																																																																						
2-5 Acordar sobre O&M das fontes de água entre os comités de Água e SDPs.																																																																						
2-6 Seleccionar e contratar Consultores (os) que(s) elaborará(m) o plano de trabalho e fiscalizará(m) o trabalho do empregado.																																																																						
2-7 Monitorar e fiscalizar as obras dos Empreendedores responsáveis pela construção de fontes de água e de latrinas nas escolas.																																																																						
2-8 Supervisar e fiscalizar o trabalho dos empreendedores (empresários).																																																																						
2-9 Actualizar o banco de dados de GIS com os dados das novas fontes de água construídas																																																																						
2-10 Seleccionar 20 escolas adjacentes às comunidades-alvo e melhorar latrinas melhoradas com sistema de lavagem das mãos.																																																																						
3. Reforçar a capacidade de operação e manutenção (O&M) nas fontes de água nos Distritos-alvo.																																																																						
3-1 Seleccionar comunidades-alvo onde as fontes de água existentes devem ser reabilitadas e fortificadas a estrutura de O&M, conforme o estudo de base nos Distritos-alvo.																																																																						
3-2 Capacitar Mecânicos Locais nos Distritos-alvo.																																																																						
3-3 Reabilitar bombas manuais avariadas e promover revitalização dos comités de água através das actividades de PEC nas comunidades-alvo.																																																																						
3-4 Apoiar o estabelecimento da estrutura de circulação de peças sobressalentes de bombas manuais na província de Niassa.																																																																						
3-5 Identificar a demanda de treinamento da Província de Niassa e dos Distritos-alvo.																																																																						
3-6 Organizar treinamento de planeificação, supervisão de implementação, monitoria e avaliação para a Província de Niassa e nos Distritos-alvo.																																																																						

ACTA DA 6ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE SUPERVISÃO PROVINCIAL
(6º PSC)

DO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO
DE ÁGUA, HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA
REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE

Lichinga, aos 27 de Novembro de 2015



Sr. Graciano Artur
Director Provincial das Obras Públicas
e Habitação (DPOPH) do Niassa
República de Moçambique



Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa
Equipa do Projecto da JICA
(PROSUAS)
Japão



Sr. António Joaquim Guido
Administradora do Distrito de Majune
República de Moçambique



Sr. Botenho Mário Benjamim Chuni
Administrador do Distrito de
Mandimba
República de Moçambique



Sr. Eduardo Assane Ali
Administrador do Distrito de Muembe
República de Moçambique



Sr. José Achida Assane
Administrador do Distrito de Mavago
República de Moçambique

1. Introdução

A 6ª reunião do Comité de Supervisão Provincial (doravante referida como “6º PSC”) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa, na República de Moçambique (doravante referido como “PROSUAS”) foi realizada no dia 27 de Novembro de 2015, na sala de conferências Kuchijinji, em Lichinga, Província do Niassa, e teve como participantes os alistados no Anexo-1. Foram discutidos e acordados os assuntos abaixo mencionados.

A seguir o resumo dos principais assuntos abordados no 6º PSC:

2. Principais Assuntos Abordados

Os Contrapartes do DAS/DPOPH, dos Distritos e o Chefe do PROSUAS apresentaram os seguintes temas:

- Progresso da Operacionalização do Sistema de Informação Nacional de Água e Saneamento (SINAS) ao Nível do Distrito -Mavago
- Progresso das Actividades do SINAS no Distrito de Mandimba
- Progresso do Estabelecimento da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes no Distrito de Muembe
- Progresso do Estabelecimento da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes no Distrito de no Distrito de Majune
- Resultado da Avaliação para Obtenção do Estatuto LIFECA na Província do Niassa
- Progresso das Actividades do Projecto PROSUAS
- Alguns resultados do Estudo de Impacto Intermediário do Projecto
- Considerações finais

1) Progresso da Operacionalização do SINAS ao Nível dos Distritos de Mavago e Mandimba

- **Situação do Abastecimento de Água**
 - Os Distritos de Mavago e Mandimba têm uma cobertura actual 47% e 42% respectivamente:
- No âmbito do Progresso da Operacionalização do SINAS ao Nível dos Distritos de Mavago e Mandimba, os Distritos destacaram os seguintes pontos:
 - Enquadramento das Actividades no PQG
 - Visão do SINAS
 - Missão do SINAS
 - Importância do SINAS
 - Fluxo de Informação

- Métodos de Recolha de Dados do SINAS
 - Uso de modelos 0,1,2
 - Deslocação do técnico e uso de GPS
 - Contacto com os chefes dos Postos Administrativos e Localidades através dos modelos.

- Desafios do SINAS
 - Atíngir o nível considerável de domínio do preenchimento de dados e manter a operacionalização do sistema por todos os técnicos dos SDPIs.
 - Fluir com precisão a informação em forma digital em todos os distritos.
 - Servir de base de consulta do sector de água e saneamento para todos os interessados na mesma área.
 - Dotar os órgãos locais e os chefes dos Postos Administrativos e Localidades de base técnica de recolha de informação até aos níveis subsequentes.
 - Garantir ao longo prazo o modelo de recolha de dados, com ou sem parceria para melhorar a troca de informação de água e saneamento.
 - Rápida intervenção para resolver o problema de fontes nas comunidades

2) Rede da Circulação de Peças Sobressalentes no Distrito de Muembe

➤ Situação do Abastecimento de Água

- Cobertura actual 40%:

- O Distrito de Muembe apresentou o ponto de situação da Estrutura da Circulação de Peças Sobressalentes, tendo destacado as seguintes realizações:
 - O estabelecimento da rede de circulação de peças no Distrito
 - Papéis e intervenientes na circulação de peças sobressalentes de bombas manuais
 - Seleccionados e capacitados 4 Mecânicos Locais como vendedores locais e 1 comerciante local em matéria de gestão da rede de circulação de peças;
 - Capacitados os chefes dos Postos Administrativos com objectivo de estar a par do assunto e garantir a eficiência na rede de circulação de peças bem como a sensibilização das comunidades (CAS) para que adiram na aquisição de peças nos Mecânicos Locais e Comerciante Local.
 - Identificadas as quantidades a serem fornecidas aos vendedores como

stock inicial;

- Em processo a aquisição de stock inicial de peças sobressalentes pela JICA;
- Definido o preço de venda de peças;
- Em curso a preparação do material de publicidade dos locais de venda de peças pela JICA;
- Introduzidos modelos de fichas de Relatórios Mensal a ser submetidos ao SDPI;

➤ **Desafios**

- Continuar a sensibilizar os Comités de Água e Saneamento a aderirem na compra das peças nos Mecânicos Locais.
- Continuar a sensibilizar o Comerciante Local e o Mecânico Local para garantirem a reposição do Stock.
- Concluir o estabelecimento da rede de circulação de peças sobressalentes.

3) Progresso Geral da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes no Distrito de Majune

➤ **Situação de Abastecimento de Água e Saneamento Rural no Distrito**

- A actual cobertura é de 52%, num universo populacional de 37.240 habitantes.
- O Distrito de Muembe apresentou o ponto de situação da Estrutura da Circulação de Peças Sobressalentes, tendo destacado as seguintes realizações:
 - Seleccionado um comerciante na vila sede do Distrito para a venda de peças sobressalentes
 - Seleccionados e capacitados Sete Mecânicos Locais como vendedores de peças
 - Foram identificados os itens e quantidades a serem fornecidas aos vendedores como stock inicial
 - Em processo de aquisição pelo PROSUAS
 - O preço de venda das peças sobressalentes foi definido em conjunto entre Distrito e o PROSUAS
 - Na fase de finalização pelo SDPI e PROSUAS material de publicidade dos locais de venda de peças.
 - Foi elaborada a ficha do Relatório mensal
 - Foram capacitados os vendedores locais e respectivos Chefes dos Postos Administrativos sobre a venda das peças e Gestão da Rede de Circulação das mesmas.

➤ **Desafios**

O Distrito de Majune tem como desafios:

- Tornar sustentáveis todas as fontes de abastecimento de água.
- Continuar com a sensibilização e monitoria do Comerciante e dos Mecânicos Locais para garantir o fluxo de circulação de peças sobressalentes.
- Aumentar o nível de cobertura do abastecimento de água.

4) Resultados da Avaliação das Comunidades e Escolas LIFECA

A Técnica do DAS, a Sra. Rosa Jaime, apresentou o resumo da avaliação das comunidades e escolas LIFECA tendo destacado o seguinte:

a) Critérios da Avaliação

- Existência de latrinas em todas as casas na comunidade;
- Observância se as latrinas estão em uso;
- Observância se as latrinas tem tampa;
- Observância da existência de um sistema de lavagem das mãos com água e sabão ou cinza junto da latrina;
- Observância da existência de dejectos humanos a céu aberto ao redor da comunidade/aldeia.

b) Comunidades e Escola Aprovadas como LIFECA nos Distritos-alvo do PROSUAS

▪ **Distrito de Majune**

- Chinunga; Mitomone 2 B; Ncangano 1 e Machinga.
- EPI de Chinunga e EPI de Ncangano 1

▪ **Distrito de Mandimba**

- Nipepe, Ussumane, Murico, Cundandji, Cazembe, Madina
- EPI Ussumane, EPC Cundandji

▪ **Distrito de Mavago**

- Ligogo; Iringa,
- EPI de Ligogo e
- EPC de Iringa

▪ **Distrito de Mueembe**

- Chiumbe; Lucheta;
- Lussengeue;
- EPI de Lussengeue

c) Constatações

- As comunidades consideradas LIFECA reuniram todos requisitos plasmados no estatuto de Comunidades Livre de Fecalismo a Céu aberto graças ao envolvimento e cometimento das comunidades, líderes locais, empresas da área social e parceiros de cooperação.

d) Recomendações

- As empresas da área social devem continuar a mobilizar as famílias de modo que estas adiram as informações relativas as boas práticas de higiene e saneamento;
- Os encontros comunitários promovidos pelas lideranças locais e as empresas da área social devem focalizar os aspectos de construção e uso correcto das latrinas e a necessidade do reforço da higiene colectiva e individual.
- No acto dos trabalhos comunitários, as empresas da área social devem dar maior ênfase a sensibilização das crianças para o uso das latrinas.

5) Progresso das Actividades do Projecto PROSUAS

➤ O Técnico do DAS, Sr. Cássimo Abacar, apresentou as seguintes actividades e a sua respectiva situação actual, conforme a MDP revista:

• **Actividade 1.**

- *Melhorar a capacidade de planificação e preparação das actividades relacionadas com abastecimento de água, saneamento e higiene nos distritos alvo*
 - O GAS Provincial encontra-se consolidado.
 - Os técnicos dos distritos alvos estão a registar melhorias consideráveis na planificação e monitoria das actividades do sector.
 - Temas relativos a água e saneamento estão a ser discutidos nas sessões dos governos distritais.

• **Actividade 2.**

- *Construir novas fontes de água e latrinas escolares nos Distritos-alvo (total 50 fontes e 20 latrinas escolares)*
 - Concluído 45 fontes em 2014. Dia 23 de Novembro de 2015, deu-se início a construção das 5 fontes restantes (concluído 3 furos até a data).
 - Concluído a construção de 4 latrinas escolares.
 - Em curso, a construção das 16 latrinas restantes (4 latrinas/distrito).
 - Em curso as actividades do PEC: organização do Comité de Água e Saneamento nas comunidades, e do Núcleo de Higiene e Manutenção nas Escolas.

• **Actividade-3**

- *Reforçar a capacidade de Operação e Manutenção (O&M) nas fontes de água nos Distritos-alvo*
 - Revitalização dos Comités de Água e Saneamento em curso com as actividades do PEC.
 - Em curso, o Estabelecimento da circulação de peças sobressalentes. Realizados 2 workshop a nível Provincial para a monitoria do progresso nos distritos (Abril e Novembro/2015).
 - Em curso, as capacitações aos técnicos da Província e dos Distritos para planificação de novas fontes e monitoria.

- **Actividade -4**

- *Melhorar o comportamento de higiene da população local nos Distritos-alvo*
 - Actividades de PEC em curso (inclui SANTOLIC e PHAST).
 - Declaradas LIFECA em 15 comunidades alvo do PROSUAS, das 17 comunidades na Província do Niassa.
 - Em curso, a Fiscalização e supervisão das actividades do PEC.

- **Actividade-5**

- *Disseminar e partilhar o know-how (conhecimentos) e as lições aprendidas no Projecto, com os parceiros da Província e a nível Nacional*
 - Partilha constante dos conhecimentos com os membros do GAS Provincial.
 - Concluída a troca de experiências na Província de Manica com a participação de técnicos dos SDPIs e DAS em Maio/2015.
 - Partilhado o progresso do Projecto junto aos membros do GAS Nacional nos dias 29 e 30 de Outubro de 2015, assim como o guião para manutenção das latrinas escolares.

- **Desafios**

No que diz respeito aos desafios, foram destacados os seguintes:

- Operacionalizar o SINAS.
- Apoiar no Estabelecimento da Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes de Bombas Manuais.
- Concluir as novas fontes e as latrinas das escolas dentro do prazo, e com a qualidade exigida.
- Continuar o apoio aos empreiteiros a nível distrital para melhorar a qualidade dos trabalhos de construções de latrinas escolares.
- Fiscalizar e Supervisionar de forma eficiente a construção das fontes por empresas de perfurações localizada da Província.
- Melhorar a qualidade do trabalho das empresas da área social nas actividades do PEC.
- Obter 60 comunidades LIFECA até o final de 2016.

6) Estudo de Impacto Intermediário – *Alguns Resultados Preliminares*

a) Objectivos do Estudo de CAP – Estudo de Impacto Intermédio

- Objectivos Gerais

- Realizar levantamento nas comunidades alvo do Projecto (em 4 Distritos do Niassa) com a finalidade de avaliar o IMPACTO INTERMEDIÁRIO do Projecto, ou seja, comparar a situação antes (2013/Agosto) e durante o Projecto (2015/Novembro).
- Actualizar o inventário de fontes de água dispersa com informação a respeito da situação dos mesmos.

▪ **Objectivos específicos:**

- Colectar os dados de estudo intermediário para medir o impacto do Projecto em sua fase intermediária de implementação.
- Analisar os problemas relativos a Operação, Manutenção e Gestão (OM/G) das fontes de abastecimento de água existentes nas comunidades-alvo.
- Analisar os problemas relativos ao conhecimento, atitudes e prática em matérias de água, higiene e saneamento nas comunidades-alvo

b) Método de Recolha de Dados

- A recolha de dados foi feita com recursos do sistema AKVO Flow que tem como característica a recolha dos dados com o uso de smartphones.

c) Processo de Recolha de Dados:

- Processo da recolha de dados foi realizado em 100 comunidades dos quatro distritos abrangidos pelo PROSUAS, nomeadamente Mavago, Muembe, Majune e Mandimba.
- O processo da recolha de dados incluiu: Entrevista com Agregados Familiares (20AFs em cada comunidade);
- Entrevista com representantes das comunidades abrangidas;
- Entrevista com representante das escolas; Entrevista com alunos de 25 escolas; Visita às fontes de água existentes dentro das comunidades abrangidas.

d) Resultados do Estudo

- No presente encontro foram partilhados apenas alguns resultados preliminares de alguns dados analisados até a data do encontro porque decorre ainda a análise minuciosa dos dados pelo Consultor. Os resultados definitivos do estudo serão partilhados após a submissão do relatório final pelo consultor.

7) Considerações finais e Recomendações

- O Representante da Direcção Nacional de Águas teceu as seguintes considerações:
 - Apelou ao PROSUAS para que continue a apoiar o GAS Provincial.
 - Informou que a DNA tem um MOU com o Laboratório de Engenharia de Moçambique para certificação da qualidade das bombas manuais e que existe uma equipa de verificação que poderá ser contactada para efeitos de certificação da qualidade, em coordenação com a DNA.
 - Os Distritos devem fazer uso das ferramentas alocadas pelo PROSUAS e colaborarem cada vez mais com vista ao alcance dos objectivos do Projecto.

ANEXOS

ANEXO 1. Lista de Participantes

ANEXO 2.. MDP 4 (Matriz do Desenho do Projecto Ver. 4)

ANEXO 3. PO 4 (Plano de Operações Ver. 4)

ACTA DA 7ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE SUPERVISÃO PROVINCIAL
(7º PSC)
DO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO DE
ÁGUA, HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA
REPÚBLICA DE MOÇAMBIQUE

Lichinga, aos 03 de Agosto de 2016



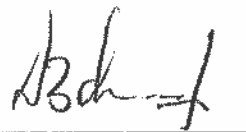
Sr. Américo Jeremias Chivale
Director Provincial das Obras Públicas,
Habitação e Recursos Hídricos
(DPOPHRH) do Niassa
República de Moçambique



Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa do Projecto da JICA
(PROSUAS)
Japão



Sr. António Joaquim Guido
Administrador do Distrito de Majune
República de Moçambique



Sr. Botélio Mário Chuni
Administrador do Distrito de
Mandimba
República de Moçambique



Sr. António Bernabe Cajua
Administrador do Distrito de Muembe
República de Moçambique



Sra. Adélia Alberto
Administradora do Distrito de Mavago
República de Moçambique

1. Introdução

A 7ª reunião do Comité de Supervisão Provincial (doravante referida como “7º PSC”) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa, na República de Moçambique (doravante referido como “PROSUAS”) foi realizada no dia 03 de Agosto de 2016, na sala de conferências Kuchijinjji, em Lichinga, Província do Niassa, e teve como participantes os alistados no Anexo-1.

2. Intervencões

Representante Provincial da DPOPHRH- Niassa (Sr. Moisés Matola)

- Enalteceu o sucesso do PROSUAS ao longo da sua implementação, a construção de infra-estruturas de AAS aumentou a taxa de cobertura de água e saneamento.
- O governo está ciente do esforço envidado pelo projecto, e garante dar continuidade das actividades nos locais onde não foram abrangidos.

Representante da DNAAS (Sr. Arlindo Correia)

- Salientou o quão foi imprescindível o PROSUAS para o sector das águas, e desta forma existe a necessidade de manter a sustentabilidade das infra-estruturas alocadas.

Representante da JICA (Sr. Akihiro Miyazaki)

- Satisfeito com os resultados pré-limanares do Projecto, enalteceu o apoio e a colaboração de todos os intervenientes que contribuíram para o alcance dos referidos resultados.
- Reconhece que Niassa ainda requer muita atenção dos parceiros de cooperação, devido as necessidades que ainda são maiores.

Discurso de abertura solene (Excelência Governador Sr. Arlindo Chilundo)

- Endereçou calorosas saudações aos participantes.
- Apelou a participação de todos na análise, debate e balanço das actividades executadas pelo PROSUAS ao longo dos 4 anos de implementação nos 4 Distritos.
- PROSUAS contribuiu para o aumento da taxa de cobertura de água e saneamento, através da construção de infra-estruturas de AAS.
- Deixa o desafio aos governos locais de revitalizar os CdA, monitorar constantemente para garantir a sustentabilidade das infra-estruturas alocadas nos Distritos.

3. Principais Assuntos Abordados

Os Contrapartes do DAS/DPOPHRH, dos Distritos e Equipa de Avaliação do PROSUAS apresentaram os seguintes temas:

- Progresso do Projecto PROSUAS (2013 à 2016/Julho), dos Distritos de Mavago, Muembe, Majune e Mandimba.
- Desafios da Sustentabilidade do Projecto e Réplica nos outros Distritos da Província do Niassa.
- Resultados da Avaliação Final do Projecto PROSUAS.
- Considerações finais e encerramento.

1) Progresso do Projecto PROSUAS (2013 à 2016/Julho), Distrito de Mavago

- Em relação a taxa de cobertura e operacionalidade das Fontes de AAS, o Distrito destacou os seguintes pontos:
 - Taxa de cobertura 2013 – 21 fontes operacionais correspondente a 24% e 2016 – 38 fontes operacionais correspondentes a 40%.
- Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes
 - Estrutura operacional, peças disponíveis e acessíveis a todos, o que veio a diminuir o tempo de espera da avaria de 1 mês para 3 dias em média.
- SINAS – Sistema de Informação Nacional de Água e Saneamento
 - Através de várias capacitações institucionais em QGIS e Google Map o Distrito consegue tirar coordenadas correctas, lançar na BD da DNA e visualizar no mapa com facilidade de identificação rápida de dados incorrectos.
- LIFECA
 - 2013 – nenhuma comunidade LIFECA.
 - 2015 – 2 comunidades aprovadas.
 - 2016 – 15 comunidades candidatas ao estatuto LIFECA.
- Comitês de Água e Saneamento
 - 2013 – 5 CAS funcionais.
 - 2016 – 38 CAS funcionais.
- Réplica das Actividades
 - Capacitação e partilha de conhecimentos entre Distritos em matéria da água e saneamento.

- Iniciativas do Distrito para o Melhoramento do Sector
 - Capacitação Institucional entre colegas.
 - Codificação das fontes de AAS.
 - Criação de comité mãe e fundo distrital de água e saneamento fruto da troca de experiência na Província de Manica.
- Desafios
 - Garantir o estatuto LIFECA em todas comunidades.
 - Garantir 100% da operacionalidade das fontes de AAS através de sensibilizações e monitorias constantes aos CAS.

2) Progresso do Projecto PROSUAS (2013 à 2016/Julho), Distrito de Mueembe

- Em relação a taxa de cobertura e operacionalidade das Fontes de AAS, o Distrito destacou os seguintes pontos:
 - Taxa de cobertura 2013 – 38 fontes correspondente a 32% e 2016 – 56 fontes correspondente a 43% (aumento de 11%).
 - Taxa da operacionalidade 2013 – 30 fontes operacionais – 79% e 2016 – 55 fontes operacionais – 98% (aumento de 19%).
- Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes
 - Estrutura operacional, peças disponíveis e acessíveis a todos.
 - Redução significativa de distâncias percorridas, de 75km para 5 km aproximadamente.
 - Redução de tempo de avaria de 20 dias para 3 dias em média.
- SINAS – Sistema de Informação Nacional de Água e Saneamento
 - Com apoio do Projecto a Base de Dados melhorou muito como resultado das capacitações sobre o SINAS e aquisição de várias ferramentas que permitem a recolha e processamento da informação.
- LIFECA
 - 2013 – nenhuma comunidade LIFECA.
 - 2015 – 5 comunidades candidatas e 4 aprovadas a estatuto LIFECA.
 - 2016 – 19 comunidades candidatas ao estatuto LIFECA.
- Comités de Água e Saneamento
 - Criados 8 CAS e revitalizados 34 dos quais 5 nas Escolas e 18 nas

comunidades.

➤ Réplica das Actividades

- Criados 5 novos CAS nas comunidades e 1 núcleo de higiene e saneamento na Escola não alvo do Projecto.

➤ Iniciativas do Distrito para o Melhoramento do Sector

- Codificação das fontes já existentes.
- Encontros com outros actores que actuam no Distrito para inclusão de planos de actividades do sector de água.
- Partilha de conhecimento com colegas da Instituição.

➤ Desafios

- Melhoramento da taxa de cobertura de água e a sustentabilidade das fontes.
- Aumentar significativamente o número de comunidades LIFECA, e garantir a manutenção do estatuto nas comunidades já aprovadas.
- Garantir a operacionalização e expansão da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes.
- Monitorar e reciclar de forma contínua os CAS com vista a elevar ainda mais a responsabilidade na gestão das fontes.

3) Progresso do Projecto PROSUAS (2013 à 2016/Julho), Distrito de Majune

➤ Em relação a taxa de cobertura e operacionalidade das Fontes de AAS, o Distrito destacou os seguintes pontos:

- Taxa de cobertura 2013 – 32 fontes operacionais correspondente a 26% e 2016 – 76 fontes operacionais correspondentes a 58%.

➤ Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes

- Estrutura operacional
- Redução de tempo de avaria de 15 dias para 3 dias em média.

➤ SINAS – Sistema de Informação Nacional de Água e Saneamento

- Antes dos vários treinamentos o fluxo de informação era deficiente, actualmente existe estreita ligação desde a base até ao nível Provincial.

➤ LIFECA

- 2015 – 7 comunidades candidatas e 6 aprovadas ao LIFECA, 2016 – 20 candidatas LIFECA.

- **Comités de Água e Saneamento**
 - Criados 12 novos CAS.
 - Revitalizados 40 CAS.
 - Treinados 17 pontos focais e núcleos de higiene e saneamento nas Escolas.
- **Réplica das actividades**
 - Criação de 12 CAS nas comunidades não alvo do Projecto.
 - Capacitação de 2 novos chefes das Localidades e P.A em matéria de SINAS.
- **Iniciativas do Distrito para o Melhoramento do Sector**
 - Partilha de conhecimento entre colegas da Instituição.
 - Criação de uma equipa multi-sectorial para recolha de informação de água e saneamento.
 - Levantamento de latrinas com sistemas de lavagem das mãos em 10 novas comunidades
 - Codificação das fontes.
 - Disseminação de uso de boas práticas em forma de palestra nas reuniões de sessão de governo.
- **Desafios**
 - Continuar a envidar esforços para o melhoramento do saneamento do meio.
 - Garantir a sustentabilidade das fontes de modo a melhorar a taxa de cobertura de água e saneamento.
 - Aumentar de forma significativa o número de comunidades LIFECA.

4) **Progresso do Projecto PROSUAS (2013 à 2016/Julho), Distrito de Mandimba**

- Em relação a taxa de cobertura e operacionalidade das Fontes de AAS, o Distrito destacou os seguintes pontos:
 - Taxa de cobertura 2013 – 166 fontes operacionais correspondente a 29% e 2016 – 210 fontes operacionais correspondentes a 33%.
- **Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes**
 - Disponibilidade e acessibilidade das peças sobressalentes.
 - Redução de tempo de avaria de 7 dias para 2 dias em média.
- **SINAS – Sistema de Informação Nacional de Água e Saneamento**
 - Antes do Projecto muitas fontes não estavam codificadas, actualmente, a codificação é feita constantemente pelo SDPI.

- LIFECA
 - 2015 – 13 comunidades candidatas e 7 aprovadas, 2016 – 42 candidatas.
- Comitês de Água e Saneamento
 - Criados 24 CAS e revitalizados 14 CAS.
- Réplica das actividades
 - Criação de 3 CAS nas comunidades não alvos do Projecto.
 - Em curso a expansão da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes nas Localidades de Mississi e Meluluca.
- Iniciativas do Distrito para o Melhoramento do Sector
 - Reciclagem das comunidades em uso de boas práticas de higiene e saneamento do meio.
 - Sensibilização dos CAS para garantir a sua operacionalização.
- Desafios
 - Aumentar a taxa de cobertura de água e saneamento das fontes de água e saneamento através da activação dos CAS.
 - Sensibilizar as comunidades candidatas a LIFECA em matéria de uso de boas práticas de modo a alcançar o estatuto LIFECA.

Desafios da Sustentabilidade do Projecto e Réplica nos outros Distritos da Província do Niassa

Como **desafios da Sustentabilidade** a DPOPHRH/DAS destacou os seguintes pontos:

- Operacionalização do SINAS a escala Provincial.
- Acompanhamento contínuo no processo da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes.
- Intensificar o conhecimento dos Técnicos dos SDPIs em matéria de AAS.

Desafios da Réplica para outros Distritos da Província:

- Continuar a partilhar e monitorar a Rede da Circulação de Peças Sobressalentes.
- Liderar o estabelecimento rápido do SINAS ao nível da Província.
- Estabelecimento EURCPS nos Distritos sem intervenção de parceiros de cooperação.

Resultados da Avaliação do Projecto PROSUAS

A Equipa de Avaliação em grandes linhas destacou o seguinte:

- Grande parte dos indicadores foi alcançada na sua totalidade, alguns parcialmente alcançados, mas tudo indica que até o fim do projecto atingir-se-ão todos.

Considerações de encerramento

Representante da DNAAS:

- Garantir a sustentabilidade e revitalização dos CAS.
- Capacitação Institucional.
- Promoção de higiene com a construção de latrinas escolares.
- Acompanhamento contínuo da circulação das peças de modo a garantir reposição de stock.
- Comprometimento dos governos locais na sustentabilidade das infra-estruturas alocadas.
- Mais envolvimento do sector privado.

Representante da JICA:

- Constatou evolução nas apresentações dos técnicos dos SDPIs.
- Sendo PROSUAS um projecto de transferência de tecnologias, existe capacidade suficiente para província dar seguimento das actividades.

Representante da DPS:

- Redução de casos de doenças de origem hídrica, como resultado da promoção de higiene e saneamento de meio, consumo de água potável.

Representante dos Administradores:

- O PROSUAS foi uma grande avalia, impacto positivo e visível.
- Aumento da taxa de cobertura de AAS ao nível dos Distritos.
- Por unanimidade assumem a expansão da réplica das actividades noutras comunidades dentro do Distrito.

Representante da DPOPHRH:

- Agradeceu pela colaboração de todos participantes.
- Apelou a seriedade dos Distritos para enfrentar em conjunto dificuldades emergentes.
- Enfatizou o comprometimento de dar continuidade dos conhecimentos adquiridos.

ANEXO 1. Lista de Participantes

[Handwritten mark]

A

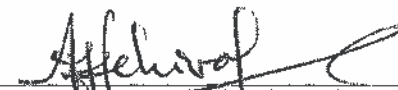
[Handwritten mark]

Bd-y.
[Handwritten signature]

[Handwritten mark]

ACTA DA 8ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE SUPERVISÃO PROVINCIAL
(8º PSC)
DO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO DE
ÁGUA, HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA

Lichinga, aos 02 de Dezembro de 2016



Sr. Américo Jeremias Chivale
Director Provincial das Obras Públicas,
Habitação e Recursos Hídricos
(DPOPHRH) do Niassa



Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa do Projecto da JICA
(PROSUAS)



Sr. António Joaquim Guido
Administrador do Distrito de Majune



Sr. Botélio Mário Chuni
Administrador do Distrito de
Mandimba



Sr. António Bernabe Cajua
Administrador do Distrito de Muembe



Sra. Adélia Alberto
Administradora do Distrito de Mavago

1. Introdução

A 8ª reunião do Comité de Supervisão Provincial (8º PSC) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa (PROSUAS), foi realizada no dia 02 de Dezembro de 2016, na sala de conferências Kuchijinji, em Lichinga, Província do Niassa e teve como participantes os alistados no Anexo-1.

2. Intervencões

Director Provincial da DPOPHRH-Niassa (Sr. Jeremias Chivale)

- Apelou aos participantes a mostrar os resultandos provenientes deste projecto que tanto contribuiu para Província do Niassa, com debates abertos que possam ajudar na continuidade do Projecto ou na expansão em outros distritos dentro da Província.

Representante da JICA (Sr. Hidetake Aoki)

- Agradeceu o esforço de todas partes envolvidas na implementação do Projecto pelo contributo directo ou indirecto para o alcance satisfatório dos resultados, com especial atenção ao Governo do Niassa.

Discurso de abertura solene pelo Excelentíssimo Secretário Permanente da Província do Niassa (Sr. Rodrigues Ussene)

- Referiu que o Governo da Província do Niassa está satisfeito com o alcance dos objectivos desenhados no contexto da materialização do Projecto PROSUAS.
- Como forma de agradecer os resultados, convidou a todos os intervenientes a partilhar os resultados da execução do Projecto que possam delimitar novas estratégias com vista a ultrapassar os desafios da sustentabilidade.
- Salientou que a construção de 50 fontes de AAS e a Reabilitação de 65 contribuiu em 2.6% taxa de cobertura de água ao nível da Província.

3. Principais Assuntos Abordados

Os Contrapartes do DAS/DPOPHRH, dos Distritos e PROSUAS apresentaram os seguintes temas:

- Resultados do Projecto PROSUAS (Março/2013 a Dezembro/2016), dos Distritos de Mavago, Muembe, Majune e Mandimba.
- Balanço Geral do Projecto PROSUAS
- Desafios da Sustentabilidade do Projecto e Réplica nos outros Distritos da Província do Niassa.
- Alguns Resultados do Estudo de Impacto do Projecto PROSUAS.
- Considerações finais e encerramento.

Quanto aos Resultados do Projecto nos 4 Distritos foi apresentado o seguinte:

1. **Taxa de cobertura**

Mavago, em 2013 contava com 21 fontes de AAS operacionais correspondente a 24%, actualmente conta com 44 fontes correspondente a 46%.

Muembe, contava com 32% contra actual de 43%.

Majune, contava com 30.7% contra actual de 49.7%.

Mandimba, contava com 29% contra actual de 33%.

2. **Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes**

Em todos os 4 distritos com a existência de vendedores de peças sobressalentes trouxe uma redução significativa de tempo de avaria, bem como as distâncias percorridas para aquisição das mesmas.

3. **SINAS**

Como fruto das diversas capacitações, os técnicos tem tido intercâmbio entre vários Distritos alvo e não alvo do Projecto com vista a dinamizar a operacionalização do Banco de Dados do SINAS.

A visualização e localização das fontes já é possível nos distritos, bem como o controle da qualidade dos dados recolhidos.

4. **LIFECA**

Em Mavago, das 22 comunidades existente 20 foram declaradas LIFECA.

Muembe, conta com 22 comunidades e 16 foram declaradas LIFECA.

Majune, 19 comunidades incluindo 6 escolas foram declaradas LIFECA.

Mandimba, 17 comunidades incluindo 8 escolas foram declaradas LIFECA.

5. **Comités de Água e Saneamento (CAS)**

Nos distritos em geral, foram criados e revitalizados comités de água e saneamento com vista a garantir a sustentabilidade das fontes. Mavago conta actualmente com CAS em todas fontes, para Muembe foram criados 16 e revitalizados 29 CAS, Majune contou com a criação de 12 e revitalização de 40 CAS e Mandimba foram criados 76 e revitalizados 14 CAS.

6. **Réplica das Actividades e Iniciativas do Distrito**

Existe partilha de conhecimento com funcionários de outras instituições dentro dos distritos. No caso dos distritos de Majune e Mandimba com base nas experiências adquiridas conseguiram criar novos comités CAS nas comunidades não alvo do Projecto.

7. **Boas Práticas**

A

No âmbito de Circulação de Peças Sobressalentes, para além das peças alocadas pelo PROSUAS, por iniciativa própria o Comerciante Local têm adquirido outras peças de interesse da comunidade.

8. Desafios

Os distritos em geral, pretendem manter o estatuto LIFECA nas comunidades aprovadas e por outro lado alcançar LIFECA nas restantes comunidades.

Manter operacional a Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes e expandir para outras Localidades onde não existem MLs vendedores.

Sessão de perguntas & respostas e esclarecimentos

Dada a qualidade das apresentações dos distritos, importa referir que os participantes estiverem mais interessados nos comentários e sugestões que possam ajudar a enriquecer os conteúdos.

O Sr. Director Provincial interessou-se em querer saber a experiência dos distritos na prestação de contas dos CAS, por sua vez, os distritos foram unânimes afirmando que existem contribuições mensais num valor que varia de um comité para outro e existe transparência na gestão e prestação de conta que é feita por via de encontros permanentes.

Balanço Geral do Projecto PROSUAS

A apresentação foi feita pelo Sr. Cássimo Abacar (DPOPHRH/DAS). Importa referir que os resultados do balanço geral do Projecto foi medido na base da Matriz de Desenho do Projecto. Contudo, há uma clara evidência que os resultados alcançados foram de acordo com os resultados esperado, bem como os indicadores previstos anteriormente.

Desafios da Sustentabilidade do Projecto e Réplica nos outros Distritos da Província do Niassa

O Sr. João Siteo (Chefe do DAS), debruçou-se sobre este assunto mencionando as boas práticas e lições aprendidas do projecto, para o governo, a priorização dos técnicos nas diversas capacitações bem como a promoção de troca de experiências entre vários parceiros do sector trouxe uma grande valia.

O apoio a iniciativas dos distritos em partilhar conhecimentos com técnicos dos distritos não alvo do projecto vêm fortificar entendimento comum sobre os assuntos do sector.

Por outro lado, o DAS reconhece que ainda existem vários desafios, contudo, comprometem-se a dinamizar a operacionalização da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes a nível da província; continuar a operacionalizar o SINAS; aumentar o número de comunidades LIFECA, entre outras acções do sector.

Considerações Finais e Encerramento

Intervenção da Empresa da Área Social ASA Consultores "Experiência/Constragimentos"

Em geral o Sr. Carlito Policarpo (Director geral), transmitiu a experiência obtidas pela empresa em jeito de constragimento relevantes, onde mencionou a insuficiência de meios circulantes nos distritos para dar face ao acompanhamento das actividades e o nomadismo das populações em algum período, dificultava o trabalho, neste caso optavam em trabalhar com os líderes comunitários e a pouca população que encontravam, com objectivo desse grupo réplicar ao resto da população quando regressassem das machambas, a empresa social fazia acompanhamento.

Intervenção do Representante dos Técnicos dos SDPIs dos 4 distritos

O Técnico do SDPI de Mavago (Sr. Saide Somane), agradeceu a todos colaboradores do PROSUAS com sentimento de dever cumprido, por outro lado, existe uma tristeza pela retirada do projecto, mas compromentem-se a dar continuidade das actividades mesmo diante das dificuldades que possam surgir.

Intervenção do Representante dos Administradores dos 4 distritos

Parabenizou o projecto e enfatizou que o mesmo veio dar uma nova dinâmica, ajudar o governo na condições e bem estar da população na componente de água e saneamento. O impacto do projecto faz se sentir a todos níveis, e apelou a continuidade do apoio do projecto.

Intervenção do Representante da JICA

Mostrou-se satisfeito com a cooperação existente durante a execução do projecto no período de 4 anos, agradeceu a colaboração de todos intervenientes, frisou ainda que o término do PROSUAS, não significa o fim da cooperação pois existe vontade e interesse da parte do governo Japonês em continuar apoiar a província do Niassa.

Intervenção do Director Provincial da DPOPHRH/Niassa

Manifestou o agradecimento do governo pela parceria através do PROSUAS, e pediu a continuação de mais parceria, de igual modo, agradeceu a todos intervenientes que contribuíram bastante para o alcance dos resultados apresentados. Reconhece que o projecto contribuiu bastante para o melhoramento das condições de vida das populações tanto no abastecimento de água assim como no saneamento, com maior ênfase na construção de blocos sanitários nas escolas. Deste modo garante a continuidade e expansão dessas actividades e réplica dos modelos de latrinas a outros distritos dentro da província.

* * * * *

添付資料-7 3 年次及び 4 年次合同調整
委員会(JCC)議事録

ACTA DA 4ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE COORDENAÇÃO CONJUNTA
DA
A COOPERAÇÃO TÉCNICA JAPONESA
NO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO DE ÁGUA,
HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA, REPÚBLICA DE
MOÇAMBIQUE
(PROSUAS-NIASSA)

Maputo, aos 10 de Dezembro de 2015



Sr. Raúl Mutevwe
Chefe de Departamento
Direcção Nacional de Abastecimento de
Água e Saneamento (DNAAS)
República de Moçambique



Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa
Equipa do Projecto da JICA (PROSUAS)
Japão

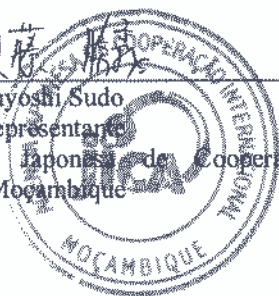


Sr. Graciano Artur
Director Provincial das Obras Públicas, Habitação e
Recursos Hídricos (DPOPHRH) do Niassa
República de Moçambique

Testemunhado por:



Sr. Kotsuyoshi Sudo
Chefe Representante
Agência Japonesa de Cooperação Internacional
(JICA) Moçambique



1. Introdução

A 4ª reunião do Comité de Coordenação Conjunta (Doravante referida como “4º JCC”) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa, na República Moçambique (doravante referido como o “**PROSUAS**”) foi realizada no dia 10 de Dezembro de 2015, em Maputo, na sala de Reuniões da Direcção Nacional de Águas e teve como participantes os alistados no Anexo-1, tendo sido discutidos e acordados os assuntos abaixo mencionados.

Este documento foi elaborado apenas em Português

A seguir o resumo dos principais assuntos abordados no 4º JCC

2. Principais Assuntos Abordados

O Técnico do Departamento de Água e Saneamento (doravante referido como “DAS”)/Niassa, o Chefe do DAS/Niassa e o Chefe da Equipa do Projecto PROSUAS apresentaram os seguintes temas:

- Progresso das Actividades do Projecto PROSUAS
- Resultados da Avaliação do LIFECA nas comunidades-alvo do Projecto PROSUAS
- Resultado Preliminar do Estudo de Impacto Intermediário do Projecto
- Revisão da Matriz do Desenho do Projecto (MDP)
- Considerações finais (Recomendações)

1) Progresso das Actividades do Projecto PROSUAS

- O Técnico do DAS/Niassa, Sr. Cássimo Abacar, apresentou as seguintes actividades e a sua respectiva situação actual, conforme a MDP revista:

- **Actividade 1.**

- *Melhorar a capacidade de planificação e preparação das actividades relacionadas com abastecimento de água, saneamento e higiene nos distritos alvo*
 - O GAS Provincial encontra-se consolidado.
 - Os técnicos dos distritos alvos estão a registar melhorias consideráveis na planificação e monitoria das actividades do sector.
 - Temas relativos a água e saneamento estão a ser discutidos nas sessões dos governos distritais.

- **Actividade 2.**

- *Construir novas fontes de água e latrinas escolares nos Distritos-alvo (total 50 fontes e 20 latrinas escolares)*
 - Concluído 45 fontes em 2014. Dia 23 de Novembro de 2015, deu-se início a construção das 5 fontes restantes (concluído 3 furos até a data).
 - Concluído a construção de 4 latrinas escolares inclusiva com sistema de lavagem das mãos.
 - Em curso, a construção das 16 latrinas restantes (4 latrinas/distrito).
 - Em curso as actividades do PEC: organização do Comité de Água e Saneamento nas comunidades, e do Núcleo de Higiene e Manutenção nas Escolas.

- **Actividade-3**

- *Reforçar a capacidade de Operação e Manutenção (O&M) nas fontes de água nos Distritos-alvo*
 - Revitalização dos Comités de Água e Saneamento em curso com as actividades do PEC.
 - Em curso, o Estabelecimento da circulação de peças sobressalentes. Realizados 2 workshop a nível Provincial para a monitoria do progresso nos distritos (Abril e Novembro/2015).
 - Em curso, as capacitações aos técnicos da Província e dos Distritos para planificação de novas fontes e monitoria.

- **Actividade -4**

- *Melhorar o comportamento de higiene da população local nos Distritos-alvo*
 - Actividades de PEC em curso (inclui SANTOLIC e PHAST).
 - Declaradas LIFECA em 15 comunidades alvo do PROSUAS, das 17 comunidades na Província do Niassa.
 - Em curso, a fiscalização e supervisão das actividades do PEC.

- **Actividade-5**

- *Disseminar e partilhar o know-how (conhecimentos) e as lições aprendidas no Projecto, com os parceiros da Província e a nível Nacional*
 - Partilha constante dos conhecimentos com os membros do GAS Provincial.
 - Concluída a troca de experiências na Província de Manica com a participação de técnicos dos SDPIs e DAS em Maio/2015.
 - Partilhado o progresso do Projecto junto aos membros do GAS Nacional nos dias 29 e 30 de Outubro de 2015, na ocasião do encontro do GAS Nacional realizado na Província do Niassa, assim como o guião para manutenção das latrinas escolares.

- **Desafios**

No que diz respeito aos desafios, foram destacados os seguintes:

- Operacionalizar o SINAS.

- Apoiar no Estabelecimento da Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes de Bombas Manuais.
- Concluir as novas fontes e as latrinas das escolas dentro do prazo, e com a qualidade exigida.
- Continuar o apoio aos empreiteiros a nível distrital para melhorar a qualidade dos trabalhos de construções de latrinas escolares.
- Fiscalizar e Supervisionar de forma eficiente a construção das fontes por empresas de perfurações localizada na Província.
- Melhorar a qualidade do trabalho das empresas da área social nas actividades do PEC.
- Obter no total 60 comunidades LIFECA até o final de 2016.

2) Resultados da Avaliação das Comunidades e Escolas LIFECA

O Chefe do DAS/Niassa, o Sr. João Siteo, apresentou o resumo da avaliação das comunidades e escolas LIFECA tendo destacado o seguinte:

a) Critérios da Avaliação

- Existência de latrinas em todas as casas na comunidade;
- Observância se as latrinas estão em uso;
- Observância se as latrinas tem tampa;
- Observância da existência de um sistema de lavagem das mãos com água e sabão ou cinza junto da latrina;
- Observância da não existência de dejectos humanos a céu aberto ao redor da comunidade/aldeia.

b) Comunidades e Escola Aprovadas como LIFECA

▪ Distrito de Majune

- Chinunga; Mitomone 2 B; Ncangano 1 e Machinga.
- EP1 de Chinunga e EP1 de Ncangano 1

▪ Distrito de Mandimba

- Nipepe, Ussumane, Murico, Cundandji, Cazembe, Madina
- EP1 Ussumane, EPC Cundandji

▪ Distrito de Mavago

- Ligogo; Iringa,
- EP1 de Ligogo e
- EPC de Iringa

▪ Distrito de Muembe

- Chiumbe; Lucheta;
- Lussengeue;
- EP1 de Lussengeue

c) Constatções

- As comunidades consideradas LIFECA reuniram todos requisitos plasmados no estatuto de Comunidades Livre de Fecalismo a Céu aberto graças ao envolvimento e

comprometimento das comunidades, líderes locais, empresas da área social e parceiros de cooperação.

d) Recomendações

- As empresas da área social devem continuar a mobilizar as famílias de modo que estas adiram as informações inerentes às boas práticas de higiene e saneamento;
- Os encontros comunitários promovidos pelas lideranças locais e as empresas da área social devem focalizar os aspectos de construção de latrinas, uso correcto e a necessidade do reforço da higiene colectiva e individual.
- No acto dos trabalhos comunitários, as empresas da área social devem dar maior ênfase a sensibilização das crianças por meio dos pais para o uso das latrinas.

3) ESTUDO DE IMPACTO INTERMEDIÁRIO - *ALGUNS RESULTADOS PRELIMINARES*

a) Objectivos do Estudo de CAP – Estudo de Impacto Intermédio

▪ **Objectivos Gerais**

- Realizar levantamento nas comunidades alvo do Projecto (em 4 Distritos do Niassa) com a finalidade de avaliar o Impacto Intermediário do Projecto, ou seja, comparar a situação antes (2013/Agosto) e durante o Projecto (2015/Novembro).
- Actualizar o inventário de fontes de água dispersa com informação a respeito da situação dos mesmos.

▪ **Objectivos específicos:**

- Colectar os dados de estudo intermediário para medir o impacto do Projecto em sua fase intermediária de implementação.
- Analisar os problemas relativos a Operação, Manutenção e Gestão (OM/G) das fontes de abastecimento de água existentes nas comunidades-alvo.
- Analisar os problemas relativos ao conhecimento, atitudes e prática em matérias de água, higiene e saneamento nas comunidades-alvo

b) Método de Recolha de Dados

- A recolha de dados foi feita com recursos do sistema *Akvo Flow* que tem como característica a recolha dos dados com o uso de *smartphones*.

c) Processo de Recolha de Dados:

- Processo da recolha de dados foi realizado em 100 comunidades dos quatro distritos abrangidos pelo PROSUAS, nomeadamente Mavago, Muembe, Majune e Mandimba.
- O processo da recolha de dados incluiu: Entrevista com Agregados Familiares (aproximadamente 20AFs em cada comunidade);

- Entrevista com representantes das comunidades abrangidas;
- Entrevista com representante das escolas; Entrevista com alunos de 25 escolas; Visita às fontes de água existentes dentro das comunidades abrangidas.

d) Resultados do Estudo

- No presente encontro foram partilhados apenas alguns resultados preliminares de alguns dados analisados até a data do encontro. Os resultados definitivos do estudo serão partilhados após a submissão do relatório final pelo consultor.

4) Revisão da Matriz de Desenho do Projecto (MDP) e os Indicadores

- Os Indicadores e os respectivos Meios de Verificação foram modificados conforme a Matriz de Desenho 4 (MDP-4) e o Plano de Operação 4 (PO-4) em anexo.

5) Recomendações

- A Direcção Nacional de Águas, através da Directora Nacional e/ou outros técnicos presentes, recomendou o seguinte:
 - Em relação ao resultados das comunidades e escolas LIFECA, deve-se procurar identificar a causa/motivo da reprovação das outras comunidades não aprovadas para se poder solucionar o problema a partir da sua raiz;
 - Deve-se desenhar estratégias que permitam perceber os aspectos que estão a falhar no SANTOLIC para o alcance do LIFECA e procurar supera-los.
 - Deve se fazer esforço de modo que as comunidades declaradas LIFECA não deixem de sê-lo;
 - Deve-se garantir que as comunidades possam dar continuidade das actividades do Projecto após a retirada deste, com apoio dos governos locais;
 - Deve-se procurar harmonizar as acções do Projecto com as recomendações feitas na avaliação intermédia realizada em finais de 2014, bem como as recomendações feitas pelos vários intervenientes na reunião do GAS Nacional na Província do Niassa.

ANEXOS

ANEXO 1. Lista dos Participantes

ANEXO 2. MDP 4 (Matriz do Desenho do Projecto 4)

ANEXO 3. PO 4 (Plano de Operações 4)

ANEXO-2 MDP 4 (Matriz de Desenho do Projecto Ver. 4)

Matriz de Desenho do Projecto (MDP)

Título do Projecto: Projecto de Promoção da Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Namibe
 Duração do Projecto: de Maio de 2013 a Fevereiro de 2017 (4 anos)
 Grupo-alvo: CNU, OPOPH da Província do Namibe e os SDPs dos Distritos-alvo
 Área-alvo: Distritos de Marango, Muimbe, Majene e Mandimba

Período: Janeiro 2013 a Fevereiro 2017

Versão 4 (Proposta)

Preparado em Agosto 2015

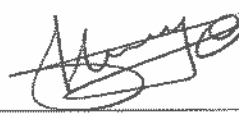
Resumo Narrativo	Indicadores Objectivamente Verificáveis	Método de Verificação	Principais fontes de informação
Objetivo geral			
Melhorar a situação de abastecimento de água e saneamento na Província do Namibe.	1) Redução em 5% do número de pessoas afectadas pelas doenças de origem hídrica na província do Namibe. 2) Aumento em 2% do número da população com acesso ao abastecimento de água na Província do Namibe.	1) Dados da Direcção Provincial de Saúde 2) Dados do Departamento de Água e Saneamento da Província	
Objectivos Específicos			
Melhorar a situação de abastecimento de água e saneamento nos Distritos-alvo através da capacidade institucional do OPOPHNAS e SDPs	1) Redução em 10% o número de pessoas afectadas pelas doenças de origem hídrica nos distritos-alvo. 2) Aumento de 20.000 beneficiários com acesso ao abastecimento de água nos distritos-alvo. 3) Melhorar a capacidade das OPOPHNAS e dos SDPs no teste de avaliação.	1) 2) Relatório Final do Projecto 3) Resultado do teste de avaliação, Relatório de Progresso do Projecto	Suficiente orçamento (do PROHABAR ou de outros recursos) será gerido para a construção das intervenções de água e saneamento na província do Namibe.
Resultados			
	1-1) Provedores públicos do GAS Província são realizados 1-2) Temáticas de água e saneamento são abordadas nas sessões ordinárias dos Governos dos Distritos-alvo trimestralmente. 1-3) 15 membros do pessoal dos Comités de área social que recebem o treinamento obtêm o certificado. 1-4) Os SDPs dos distritos-alvo recebem relatório das empresas de área social. 1-5) Os relatórios sobre condições de abastecimento de água, saneamento e higiene e a vontade da população local de melhorar e as formulações nos Distritos-alvo. 1-6) O Mapa hidrogeológico é atualizado.	1-1) Acta das Reuniões 1-2) Acta das Reuniões 1-3) Relatório do CFPAS 1-4) Relatório de Progresso do Projecto 1-5) Relatório de Progresso do Projecto 1-6) Mapa hidrogeológico	O pessoal do Contingente Moçambicano e outros dos Países do Sudeste não mudará o ponto de afecto a realização do Projecto.
1. Melhorar a capacidade de planeação e preparação das actividades de abastecimento de água, saneamento e higiene nos Distritos-alvo.	1-1) Os novos furos de água são construídos nos Distritos-alvo. 2-1) Supervisores são realizados trimestralmente pelos SDPs.	2-1) Relatório de Progresso do Projecto 2-2) Relatório de Progresso do Projecto	
2. Construir novas fontes de água e latrinas para as escolas nos Distritos-alvo.	3-1) Acidentes no mínimo o valor aconselhável de 2.000ml, pelo comité de água de cada fonte das comunidades-alvo até o final do período do Projecto. 3-2) A duração de inspeção/condição das fontes de água reduz para menos de 14 dias por ano em áreas nas comunidades-alvo.	3-1), 3-2) Relatório de Progresso do Projecto e Avaliações Interimárias	
3. Reforçar a capacidade de operação e manutenção (OM&M) das fontes de água nos Distritos-alvo.	3-3) O plano anual de implementação é elaborado todos os anos pela OPOPHNAS do Namibe e pelos Governos Distritos/SDPs nos Distritos-alvo. 3-4) 11 técnicos do OPOPHNAS obtêm o certificado após a conclusão do treinamento. 3-5) OPOPHNAS recebe o relatório de água e saneamento dos SDPs de supervisão, monitoria e avaliação trimestralmente.	3-3) Relatório de Progresso do Projecto 3-4) Relatório do CFPAS 3-5) Relatório de Progresso do Projecto	
4. Melhorar o comportamento de higiene da população local nos Distritos-alvo.	4-1) No mínimo 50% das pessoas das comunidades-alvo que praticam o lavatório e o uso de saneamento em locais públicos. 4-2) No mínimo 50% das pessoas das comunidades-alvo que não praticam o lavatório e o uso de saneamento em locais públicos, praticam o lavatório e o uso de saneamento em locais públicos. 4-3) 50 comunidades aderem LIFECA.	4-1), 4-2), 4-3) Relatório de Progresso do Projecto e Avaliações Interimárias	
5. Dissertar e partilhar o know-how e as lições aprendidas no Projecto com as partes interessadas dos níveis provincial e nacional.	5-1) 3 tipos de mensagens / guias são elaborados e distribuídos em todos os Distritos da Província do Namibe. 5-2) O progresso do Projecto é apresentado por mais de 3 vezes nas reuniões do GAS Nacional. 5-3) 10 membros de outras Províncias visitam a Província do Namibe para ver as actividades do Projecto. 5-4) O website do GAS Província é atualizado pelo menos uma vez por mês.	5-1) Relatório de Progresso do Projecto 5-2), 5-3) Relatório Final do Projecto	
Atividades	Impacto		
1-1-1. Consolidar o GAS Província com partes interessadas na melhoria do abastecimento de água e saneamento rural em harmonia com o manual de operação do PROHABAR. 1-1-2. Promover a participação das Direcções e Setores dos Governos locais relacionados, principais parceiros de cooperação e ONGs do GAS Província. 1-1-3. Iniciar a realização da reunião do GAS Província regularizada e partilhar o progresso das actividades do Projecto. 1-2-1. Iniciar a instalação de fontes de abastecimento de água e saneamento rural nos sessões ordinárias dos Governos dos Distritos-alvo. 1-2-2. Iniciar a partilha do progresso das actividades do Projecto trimestralmente nos sessões ordinárias dos Comités de área social. 1-3. Elaborar Consultores apropriados para executar seminários do PEC 1-4. Capacitar Consultores de área social para que possam implementar as actividades do PEC nos Distritos-alvo. 1-5. Elaborar os TOR dos Consultores de área social para a realização do estudo de base nos Distritos-alvo. 1-6. Contratar os Consultores de área social para a realização do estudo de base nos Distritos-alvo. 1-7. Realizar um estudo sobre disponibilidade actual das fontes de água, dados dos furos e sua situação de O&M nos Distritos-alvo. 1-8. Realizar um estudo sobre o comportamento de higiene da população local e a disponibilidade de infraestruturas de saneamento nos Distritos-alvo. 1-9. Identificar recursos locais como comités de área social, máquinas locais de bombas e serviços de manutenção nos Distritos-alvo. 1-10. Atualizar o banco de dados de GIS existente com as informações obtidas das fontes de água nos distritos-alvo. 1-11. Realizar análise das imagens de satélite dos Distritos-alvo. 1-12. Com base nos resultados de 1-10 e 1-11, atualizar o mapa hidrogeológico. 1-13. Com base nos resultados do estudo de base, elaborar MCP 1 e PO 1. 2-1. São construídas 10 novas fontes de água nos Distritos-alvo. 2-2. Elaborar os TOR e contratar Consultores de área social para a realização das actividades do PEC nos Distritos-alvo. 2-3. Selecionar as comunidades-alvo onde as fontes de água devem ser construídas, conforme resultado do estudo de base nos Distritos-alvo. 2-4. Estabelecer Comité de Água através das autoridades do PEC nas comunidades-alvo. 2-5. Acordar sobre O&M das fontes de água entre os comités de água e SDPs. 2-6. Selecionar e contratar Consultores, (se) qual(is) ele(it)os(em) conforme o orçamento e finaliza(m) o trabalho de engenharia. 2-7. Monitorar e fiscalizar as obras dos Empreiteiros responsáveis pela construção de fontes de água e de latrinas nas escolas. 2-8. Supervisar e fiscalizar o trabalho das empresas/contratadas selecionadas. 2-9. Atualizar o banco de dados de GIS com os dados das novas fontes de água construídas. 2-10. Realizar 20 visitas técnicas às comunidades-alvo e construir latrinas melhoradas com sistema de lavagem das mãos. 3-1. Selecionar comunidades-alvo onde as fontes de água existentes devem ser melhoradas e fortalecer a estrutura de O&M, conforme o estudo de base nos Distritos-alvo. 3-2. Capacitar técnicos locais nos Distritos-alvo. 3-3. Realizar visitas técnicas às fontes de água existentes e promover revitalização dos comités de água através das actividades do PEC nas comunidades-alvo. 3-4. Apoiar a implementação da estrutura de circulação da peças sobresselvas de bordas trancadas na província do Namibe. 3-5. Identificar a demanda de treinamento de Província do Namibe e dos Distritos-alvo. 3-6. Organizar treinamento de planeificação, supervisão de implementação, monitoria e avaliação para a Província do Namibe e os Distritos-alvo. 3-7. Aconselhar e integrar a planeificação, supervisão de implementação, monitoria e avaliação realizadas pela Província do Namibe e pelos Distritos-alvo. 3-8. Apoiar os Distritos-alvo para identificar novas necessidades de capacitação (incluindo operários) na planeificação anual. 3-9. Apoiar o processo institucional para a realização de novas capacitações. 4-1. Selecionar comunidades-alvo para a implementação do BANYOLIC, conforme o estudo de base nos Distritos-alvo. 4-2. Capacitar agentes locais para construção de latrinas melhoradas nos Distritos-alvo. 4-3. Promover o BANYOLIC através das actividades do PEC nas comunidades-alvo. 4-4. Promover a utilização sustentável nas escolas selecionadas em 2-10 escolas, e melhorar o treinamento sobre O&M das latrinas melhoradas construídas com sistema de lavagem das mãos. 4-5. Monitorar o progresso do BANYOLIC nas comunidades-alvo. 4-6. Realizar visitas técnicas LIFECA, pelas Administrações dos Distritos. 4-7. Promover a construção de latrinas melhoradas nas famílias, principalmente nas comunidades declaradas LIFECA. 5-1. Identificar as dificuldades e as partes importantes a serem consideradas para intervenções de água e saneamento, baseando-se nas experiências obtidas através das reuniões 2 e 4. 5-2. Partilhar as dificuldades e as partes importantes com os Distritos-alvo do Projecto e outras partes interessadas sobre as realizações do GAS Província. 5-3. Elaborar manuais para intervenções adequadas no abastecimento de água e saneamento, baseando-se nas experiências acumuladas no GAS Província. 5-4. Criar contrapartidas técnicas e administrativas para o pessoal dos Distritos que não sejam alvo do Projecto e de outras partes interessadas. 5-5. Atualizar as informações do Projecto divulgadas no website do GAS. 5-6. Criar o site do GAS Província do Namibe e atualizar a sua atualização periódica. 5-7. Partilhar nas reuniões do GAS Nacional e apresentar periodicamente os progressos do Projecto. 5-8. Criar contrapartidas técnicas e administrativas das participações do GAS Nacional. 5-9. Partilhar as experiências e as lições aprendidas no Projecto no GAS Nacional, e contribuir para a melhoria dos programas de abastecimento de água rural em Moçambique, como o PROHABAR.	1. Parte japonesa (a) Envio da partilha - Carta de Apoio do Projecto - Partilha da área de Monitoria de Infraestruturas de Água Rural - Partilha da área de Operação e Manutenção de Infraestruturas de Água Rural - Partilha da área de Saneamento e Higiene - Partilha da área de Capacitação de Recursos Humanos / Capacitação institucional (b) 2 viagens (c) 2 reuniões para cada Distrito-alvo (d) Equipamentos e materiais necessários para as actividades do Projecto (peças sobresselvas de bordas trancadas, computador, gerador, câmaras digitais, GPS, fotocâmara, etc.) (e) Treinamento no campo para outros países 2. Parte Moçambicana (a) Dirigir o pessoal da Contingente (CPN) (b) Instalações e equipamentos necessários para a implementação do Projecto (c) Esforços para partes japonesas (d) Despesas necessárias para as actividades - Salário e outras despesas de apoio para funcionários do Governo - Despesas para instalações como alimentação, água e combustível	A(s) empresa(s) parceira(s) contratada(s) com capacidade suficiente participará(m) no campo para construção de fontes de água do Projecto.	
			Principais fontes

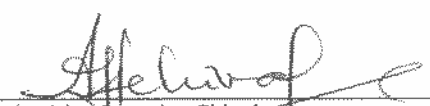
[illegible]

ACTA DA 5ª REUNIÃO
DO
COMITÉ DE COORDENAÇÃO CONJUNTA
DA
A COOPERAÇÃO TÉCNICA JAPONESA
DO
PROJECTO DE PROMOÇÃO DE SUSTENTABILIDADE NO ABASTECIMENTO DE ÁGUA,
HIGIENE E SANEAMENTO RURAL NA PROVÍNCIA DO NIASSA, REPÚBLICA DE
MOÇAMBIQUE
(PROSUAS-NIASSA)

Maputo, aos 09 de Dezembro de 2016.


Eng. Alcino Nhacume
Chefe de Departamento
Direcção Nacional de Abastecimento de
Água e Saneamento (DNAAS)
República de Moçambique


Sr. Shoichi Yokogi
Chefe da Equipa
Equipa do Projecto da JICA (PROSUAS)
Japão


Sr. Américo Jeremias Chivale
Director Provincial de Obras Públicas, Habitação e
Recursos Hídricos (DPOPHRH) do Niassa
República de Moçambique

Testemunhado por:


Sr. Katsuyoshi Gudo
Chefe Representante
Agência Japonesa de Cooperação Internacional do
Japão (JICA) - Moçambique

1. Introdução

A 5ª reunião do Comité de Coordenação Conjunta (Doravante referida como “5º JCC”) do Projecto de Promoção de Sustentabilidade no Abastecimento de Água, Higiene e Saneamento Rural na Província do Niassa, na República Moçambique (doravante referido como o “PROSUAS”) foi realizada no dia 09 de Dezembro de 2016, em Maputo, na sala de Reuniões, na Direcção Nacional de Água e Saneamento e teve como participantes os alistados no Anexo-1, tendo sido discutidos e acordados os assuntos abaixo mencionados.

Este documento foi elaborado apenas em Português

A seguir o resumo dos principais assuntos abordados no 5º JCC

2. Principais Assuntos Abordados

O Chefe da Equipa do Projecto PROSUAS, o Técnico do SDPI-Mavago, o Técnico do Departamento de Água (doravante referido como “DAS”)/Niassa, o Chefe do DAS/Niassa apresentaram os seguintes temas:

- Resultados do Estudo de Impacto nas Comunidades Alvo
- Resultados do Projecto a nível dos Distritos
- Balanço Geral do Projecto
- Desafios da Sustentabilidade Pós-Projecto e Réplica nos outros Distritos da Província do Niassa
- Considerações finais

1) Resultados do Estudo de Impacto nas Comunidades-alvo

- O Chefe da Equipa do Projecto PROSUAS, o Sr. Shoichi Yokogi, apresentou alguns dos principais resultados do Estudo de Impacto nas Comunidades alvo. Como os dados de campo ainda estavam a ser analisados pela empresa de consultoria, os resultados apresentados forma preliminares conforme indicado no material de apresentação.

A. Objectivos do Estudo de Impacto

- Realizar levantamento nas comunidades alvo do Projecto (em 4 Distritos do Niassa) com a finalidade de avaliar o Impacto Final do Projecto.
- Colectar dados de campo para medir o impacto do Projecto em sua fase final de implementação.
- Analisar os problemas relativos a Operação, Manutenção e Gestão (OM/G) das fontes de abastecimento de água existentes nas comunidades-alvo.
- Analisar os problemas relativos ao conhecimento, atitudes e prática em matérias de água,

higiene e saneamento nas comunidades-alvo.

- **Período do Estudo de Impacto Final:**

- 21/Out/2016 a 30/Dez/2016.

B. Levantamento de Dados

- **Recolha de dados:**

- A recolha de dados foi feita com recursos do sistema Akvo Flow que tem como característica a recolha dos dados com o uso de smartphones.

- **Processo da recolha de dados:**

- O processo da recolha de dados foi realizado em 109 comunidades dos quatro distritos abrangidos pelo PROSUAS, nomeadamente Mavago, Muembe, Majune e Mandimba. O processo da recolha de dados incluiu: Entrevista a 20 Agregados Familiares em cada comunidade; Entrevista com representantes das comunidades abrangidas; Entrevista com representante das escolas; Entrevista com alunos de 57 escolas; Visita às fontes de água existentes dentro das comunidades abrangidas.

2) Principais Resultados do Projecto nos Distritos-alvo

O Técnico do SDPI de Mavago, o Sr. Saíde Somane, apresentou os principais resultados do projecto nos 4 distritos-alvo tendo destacado os seguintes aspectos na evolução comparativa das actividades. Outros resultados são conforme indicados no material distribuído no encontro.

a) Taxa de cobertura de água potável

Distrito	Taxa de cobertura em 2013 (%)	Taxa de cobertura em 2016 (%)
Mavago	24 %	46 %
Muembe	32 %	43%
Mandimba	29 %	33%
Majune	31 %	50%

Sendo de destacar o aumento da taxa média de cobertura de 28% em 2013 para 38% em 2016

b) Taxa de Operacionalidade das fontes

Distrito	Taxa de Operacionalidade em 2013 (%)	Taxa de Operacionalidade em 2016 (%)
Mavago	60 %	100 %
Muembe	79 %	100%
Mandimba	84 %	91%
Majune	31 %	88%

Sendo de destacar o aumento da taxa média de OP das fontes de 68% em 2013 para 92% em 2016

c) Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes

No âmbito do estabelecimento da Estrutura Unificada da Rede de Circulação de Peças Sobressalentes, destaca-se a redução do tempo de avarias de 21 a 30 dias para 2 a 3 dias em média nos distritos alvo.

d) Operacionalização do SINAS

No contexto do SINAS, destacam-se as seguintes realizações:

- O SINAS encontra-se operacional nos distritos alvo.
- A possibilidade de visualização e localização das fontes com o sistema da DNAAS e através do uso do Quantum GIS (QGIS) e, Google Map para visualização da localização das fontes.
- As fontes já se encontram codificadas.
- Apoio a outros distritos fora do alvo do Projecto para operacionalização do SINAS.
- Controlo de qualidade dos dados recolhidos para sua correcção.

e) Capacitações

A nível da capacitação institucional, foram destacadas as seguintes realizações:

- Formados 26 activistas.
- Formados 40 mecânicos para reparação de bombas.
- Formados 75 artesãos para apoio na construção de latrinas nas comunidades.
- Criados 49 pontos focais de água e saneamento nos Distritos.
- Capacitados chefes de P.A e Localidades sobre a gestão de informação do modelo 0 e 1 do SINAS
- Várias capacitações a nível dos distritos, não limitando-se somente ao SDPI.

f) Comités de Comunidades Livres de Fecalismo a Céu Aberto (LIFECA)

Distrito	Nº de Comunidades Existente	Nº de Comunidades LIFECA
Mavago	24	20 (inclui 12 escolas)
Muembe	22	16 (inclui 12 escolas)
Mandimba	230	17 (inclui 8 escolas)
Majune	54	19 (inclui 6 escolas)
TOTAL	330	72

g) Réplica em Capacitação Institucional

No que diz respeito à réplica das actividades do PROSUAS nos outros Distritos foram destacadas as seguintes actividades:

- Capacitação institucional: partilha de conhecimentos entre os colegas do Distrito e outros Distritos não alvo do Projecto.
- Codificação de fontes no Distrito.
- Recolha de informação para criação de bancos de dados de saneamento, habitação, ordenamento territorial.
- Possibilidade de criação de comité mãe e fundo Distrital de água (caso de Mavago).

h) Boas Práticas

Foram destacadas como boas práticas:

- Capacitações entre Distritos, réplica da experiência adquiridas no Projecto.
- Digitado e actualizado o banco de dados de 565 fontes em 6 Distritos não alvos do projecto em réplica das acções. Somando as 549 fontes nos Distritos alvos do projecto, totalizamos 1.114 fontes registadas.
- Elaboração de fichas de controlo de venda de peças sobressalente pelos vendedores e mecânicos.
- Elaborada ficha simplificada de recolha de informação para a base de dados.

3) Balanço Geral do Projecto

O Técnico do DAS Niassa apresentou a avaliação e balanço geral do Projecto com base na Matriz de Desenho do Projecto (MDP, Versão 4) conforme documento distribuído no encontro. Com base na avaliação terminal do Projecto realizada por um consultor independente da JICA, o Projecto basicamente alcançou os objectivos traçados inicialmente.

4) Desafios da Sustentabilidade Pós- Projecto e Réplica nos Outros Distritos da Província do Niassa

O Chefe do DAS Niassa apresentou alguns pontos considerados como boas práticas, lições aprendidas e desafios, tendo realçado o seguinte:

a) Boas Práticas e Lições Aprendidas do Projecto

- Priorização dos técnicos dos distritos nas capacitações, assim como das empresas locais de construção e da área social;
- Priorização das empresas locais para execução das obras de AASR e actividades do PEC;
- Apoio na reactivação do GAS Provincial e criação da página de internet do mesmo;
- Priorização das escolas para abertura de fontes de água segura e de construção de blocos sanitários inclusivos;
- Promoção de troca de experiências entre vários parceiros a nível nacional que actuam no sector;
- Os bons resultados do LIFECA deste ano deveram-se a partilha atempada das regras de avaliação e prática de campo dos avaliadores, assim como maior empenho das empresas da área social.
- Apoio à iniciativa dos distritos em partilhar o conhecimento com os técnicos dos distritos não alvo do Projecto;
- Flexibilidade para estender o apoio aos vários distritos não alvo do Projecto em matérias do SINAS, Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes, capacitação na supervisão de construção de fontes, etc.
- Flexibilidade para estender o apoio aos vários distritos não alvo do Projecto em matérias do SINAS, Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes, capacitação na supervisão de construção de fontes, etc.
- Flexibilidade para estender o apoio aos vários distritos não alvo do Projecto em matérias do SINAS, Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes, capacitação na supervisão de construção de fontes, etc.

- Capacitação de mais de um técnico no sector de água e saneamento em cada distrito, para garantir a manutenção do conhecimento no distrito.
- Capacitação de mais de um técnico no sector de água e saneamento em cada distrito, para garantir a manutenção do conhecimento no distrito.

b) Réplica das Boas Práticas do Projecto em Outros Distritos da Província

- Capacitação de mais de um técnico no sector de água e saneamento em cada distrito, para garantir a manutenção do conhecimento no distrito.
- Capacitação de mais de um técnico no sector de água e saneamento em cada distrito, para garantir a manutenção do conhecimento no distrito.
- Liderar o estabelecimento do SINAS em todos os distritos da Província aproveitando os técnicos dos distritos onde o SINAS já se encontra plenamente operacional;
- Incentivar a partilha de conhecimento dentro de cada instituição, principalmente a nível dos distritos;
- Incentivar a partilha de conhecimento dentro de cada instituição, principalmente a nível dos distritos;

c) Desafios para a Sustentabilidade Após o Término do Projecto

- Operacionalizar o SINAS em todos os Distritos da Província;
- Melhorar cada vez mais o conhecimento específico em AAS dos Técnicos dos SDPIs;
- Operacionalizar a Estrutura Unificada de Circulação de Peças Sobressalentes em todos os Distritos da Província;
- Continuar a reforçar a capacidade de operação e manutenção das fontes em todos os distritos da Província;
- Continuar a aumentar o número de comunidades LIFECA;
- Manter operacional o GAS Provincial;
- Monitorar a actividade dos Activistas nas comunidades com o apoio dos SDPIs e Postos Administrativos.
- Continuar a incentivar o envolvimento dos técnicos da Saúde e Educação nas actividades do sector.

5) Considerações Finais e Recomendações

- A DNAAS, através do representante do Director Nacional e ou outros técnicos e parceiros do sector presentes teceram as seguintes considerações e recomendações relevantes:
 - Em relação aos resultados das comunidades e escolas LIFECA, tomando em consideração que em 2015 foram submetidas várias comunidades candidatas ao LIFECA mas aprovadas apenas algumas, e em 2016 muitas comunidades foram aprovadas. O Projecto deve partilhar as lições sobre as causas de sucesso para que todas as comunidades na candidatura seguinte tenham resultados similares;
 - Como sector, deve se pensar na forma de dar seguimentos as realizações do Projecto para que com a sua retirada não haja retrocesso, sendo deste modo necessário continuar-se a investir no abastecimento de água, assim como no saneamento tendo em conta os Objectivos do Desenvolvimento Sustentável.

Handwritten marks: a large 'A', a circled '3', and a checkmark.

ANEXOS

ANEXO 1. LISTA DOS PARTICIPANTES

A
B ✓

